

第五十二回
帝國議會
衆議院

登録税法中改正法律案外三件 委員會會議錄(速記) 第五回

會議

昭和二年二月二日(水曜日)午後一時十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 武藤 金吉君

理事 奥村 千藏君

理事 高橋熊次郎君

木村三四郎君

神部 爲藏君

佐藤球三郎君

堀切善兵衛君

山本 慎平君

長田 桃藏君

吉良 元夫君

禰 苗代君

増田 義一君

同月一日委員兼松寅太郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ同日山本芳治君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 武内 作平君

大藏省主税局長 黒田 英雄君

商工政務次官 桐瀬軍之佐君

商工參與官 野村 嘉六君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

商工省鑛山局長 三井 米松君

商工技師 中井 武雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
登録税法中改正法律案(政府提出)
印紙税法中改正法律案(政府提出)
砂糖消費税法中改正法律案(政府提出)

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

○武藤委員長 會議ヲ開キマス

○奥村委員 大藏當局ニ御尋ネテ致シ

マスルガ、大藏當局カラ配付サレマシタル所ノ登録税及印紙税改正綱要ノ冒頭ニモ書イテゴザイマス通り、國民租稅負擔ノ均衡ヲ得セシムルコトニ努メ、或ハ社會上經濟上ノ現況ニ照シ、成ベク社會政策的效果ヲ擧グルト同時ニ、稅務行政執行上便宜ヲ圖リ、出來得ル限り、官民相互ノ手數ヲ省略スル方針ノ下ニ改正案ヲ立テタ、斯ウ書イテアリマシテ、此各法案ヲ本會議ニ御提案ノ時ニ於キマシテモ、大臣ハ此意味ヲ懇ロニ御述ベニナツテ居ルノデアリマスガ、就キマシテハ其御趣旨ト、此處ニ示サレテ居ル所ノ登録税中ニ於キマシテ同僚カラ色々御質問ガアリマシタガ、尙ホ一點私カラ御伺シタイノハ、第十九條ノ第十一ニ該リマスル、住宅又ハ住宅用地ニ付產業組合員又ハ住宅組

合員ガ、其ノ所屬組合ヨリノ權利ノ取得ノ登記ノ場合ニ、免除ヲ受ケルコトニ相成ツテ居ルノデアリマスガ、併ナガラ此配付サレマシタル所ノ改正綱要ニ示シテアル括弧四ノ所ニ於テ、左記ノ場合ニ於テ免除スルコト、(ロ)(ニ)(ホ)(ヘ)(ト)ト色々區分サレテ居リマスルガ、此御趣意ト、此(イ)ニアリマス所ノ今讀上ゲマシタ要綱ト矢張一貫シテ居リマスルガ然ルニ此住宅組合ナドガ土地ヲ買收スル場合ニ於テハ、免稅ニ相成ラヌヤウニナツテ居リマスルガ、之ニ對シテ是デハ一貫シテ居マスト思ヒマスガ、此點ニ付テ黒田政府委員ノ御答辯ヲ願ヒタイ

○黒田政府委員 住宅組合又ハ產業組合ヨリ、其組合員ガ住宅又ハ住宅用地ヲ取得シマスル場合ニ於キマスル登録税ヲ免除致シテ居ルノデアリマス、此點ハ今御述ベニナリマシタヤウニ、要綱ニ掲ゲテアリマスモノヲ法律ノ方ニ規定ヲ致シタノデアリマス、御尋ネノ通り住宅組合或ハ產業組合デモ宜シウゴザイマスガ、住宅ヲ造リマシテ、之ヲ組合員ニ移ス所有權ヲ移スト云フ場合ニ於テ、現在ニ於キマシテハ所有權移轉ノ登録税千分ノ三十五ト云フモノヲ

課稅致シテ居ルノデアリマス、ソレヲ今回免除シタイト云フ趣旨デアリマシテ、之ニ付テハ過日モ何故ニ住宅組合ガ取得スル場合ニ、之ヲ免稅ヲシナイカト云フ風ナ御質問ガアリマシタ、只今ノ御尋ネモサウ云フ御趣意ト拜承致スノデアリマスルガ、是ハ過日モ詳シク御答ヲ申上ゲタト記憶致シテ居リマスルガ、住宅組合員ニ對シマスル所有權移轉ヲ免除致シマシタノハ、小住宅、即チ小サイ住宅ヲ取得致シマシテ、サウシテ生活ノ安定ヲ得セシメルト云フ目的ニ副ヒマスルヤウニト思ヒマシテ、登録税ノ免除ヲ致シタノデアリマス、併ナガラ組合ガ取得スル場合ニナリマスルト、場合ニ依テ是ハ過日モ申上ゲタノデアリマスルガ、是ハ場合トシテハサウ頻繁ニアル譯デハナカラウカト思ヒマスガ、取得致シマシテ、又他ニ之ヲ移ス、放スト云フ風ナ場合、サウ云フ場合ニ於テハ、之ヲ免除シテ置キマスコトハ、非常ニ權衡ヲ失シマスノト、又他トノ權衡カラ致シマシテ、先程負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フ風ナ趣意デ改正ヲシタノデハナイカト云フ御話デアリマスガ、其通りデアリマシテ、他トノ權衡、殊ニ共濟組合デアリマストカ、其

付託議案

登録税法中改正法律案(政府提出)

印紙税法中改正法律案(政府提出)

砂糖消費税法中改正法律案(政府提出)

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

商事非訟事件印紙法中改正法律案(政府提出)

他ノ公益組合ニ於テ所有權ヲ取得スル場合ハ免稅ヲ致サヌノデアリマス、唯之ガ個人ニ歸シマシテ、個人ノ生活ノ安定ヲ得ヤウ、小サイ住宅デモ免ニ角個人ガ安定ヲ得ヤウト云フ場合ノ負擔ヲ輕減スルト云フ意味デ、其目的ヲ達スルノデアアル、ト云フ趣旨カラ玆ニ規定シタヤウナ次第デアリマス、全部初メカラ免除シナカッタト云フコトハ、他ノ組合、是等ニ類似ノモノトノ均衡ヲ考ヘタ次第デアリマス

○奥村委員 只今ノ政府委員カラノ御答ニ依リマス、共濟組合或ハ其他是ト趣旨ヲ同ジクシテ居ルモノトノ權衡ガ取レナイト云フ御話デアリマス、併ナガラ其處迄若シ廣メラルトシマサルト、收入ニハドレダケ程ノ影響ガアルノデアリマス、若シ數字ガ御分カリニナツテ居ッタラ、御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○黒田政府委員 是ハ範圍ヲドノ程度ニ致シマス、隨分困難デモアラウト思ヒマス、數字ハ今日調べタモノガゴザイマセヌ

○奥村委員 ソレデ私ハ登錄稅ハ是デ止メマシテ、印紙稅ニ移ッテ御尋ネテ致シタイト思フノデアリマス、印紙稅ニ付テハ昨日吉良委員カラ詳細ニ當局ニ對シテ質疑ガアッタノデアリマス、私モ矢張同ジ點ヲ御尋ネ致シタイト思フノデアリマス、併ナガラ吉良君ノ見テ居ラル所ト私トハ少シ違フカト思

フノデアリマス、何分ニモ斯ウ云フ點ニ對シマシテハ、政府ノ懇切ナル御説明ヲ仰ギタイト思ヒマス、改正要綱ノ此印紙稅ノ括弧四ト云フ所ニ於テ「イ、ロ、ハ、ニ、ホ、ヘ、ト、チ、リ」ノ此九項ニ對シマシテ免稅スルコトガ書イテアルノデアリマス、免稅スルコトガ書イテアリマス、昨日吉良君ノ御質問ニ貯蓄銀行ノ發スル貯金通帳、或ハ積金通帳及積金證書或ハ產業組合ガ發スル貯金通帳、是等ノ點ニ付テ免稅シテ、サウシテ通帳ノ方ニ持ッテ行ッテ、預金通帳ヲ除ク、通帳ニ對シマシテ參錢ヲ五錢ニ引上ゲニナツタ理由如何ト、斯ウ御尋ネニナツタ時ニ、黒田政府委員ハ貯蓄銀行ハ零細ナル金ヲ預カル、而カモ其總金額モ多クナイノデアアル、預金スル方ヨリモ、預カル方ニ於テ一冊ニ對シテ今迄ハ印紙稅ヲ出シテ居ッタノデアアル、是ハ直接預金者ノ負擔ニハナリマセヌケレドモ、間接ニハ利子其他ノ關係上、矢張預金者ニ影響ヲ及ボスモノデアアル、勤儉力行ヲ獎勵スル意味ニ於テモ、是ハ免除シタ方ガ當然デア

ル、斯様ナ御答デアッタ、私モ其御述べニナリマシタル所ニハ、至極同感デア

ル、斯ウ云フコトデアリマス、私モ實ハ個人ト致シマシテハ零細ナル營業ヲ致シテ居ル者デアリマス、是等ニ付テ地方ノ稅務官吏ト隨分意見ヲ異ニシマシテ、誅求ヲ受ケタ一人デアリマス、故ニ今回之ヲ免稅サレルト云フコトハ、誅求サレルト云フ意味ニ於テノ緩和ト云フコトト、尙ホ免稅サレルト云フコトハ、至極結構デアルト思ヒマス、一體此賣買仕切書トカ送狀トカヲ發スル者ハ、小賣業者ノヨリ一段上ニ居リマス、上トハ可笑シウゴザイマセヌケレドモ、上ニ居リマスル所ノ營業者デアリマシテ、其營業者ガ行使スル所ノ賣買仕切書ナント云フモノハ、小賣人ガ顧客ニ對シマシテ用キテ居ル所ノ通帳トハ、餘程其稅ヲ背負フ所ノ力ニ於テ、吾々ハ相違ヲ致シテ居ルト思フノデアリマス、昨日吉良委員ハ物品販賣ノ場合ニ於ケル通帳ハ一年デアッテ、サウシテ入金ナリ何ナリノ關係上カラ翌年ニ廻ル、ソレデ印紙又貼ッテ行クノデアアルト斯ウ仰シヤッタ正ニ其通りデアリマス、私ノ見ル所ト、私ノ體驗ヲ致シテ居リマス、點カラ考ヘマサルト云フト、自己ノ發スル小賣人トシテノ通帳ハ、一千通内外ヲ私ハ出シテ居リマス、併シ賣買仕切書トカ送狀トカ云フモノヲ受ケルト云フ場合ハ、是ハ一割ニモ當ラナイ、百ニ對スル五位ノ割合デアアルノデアリマス、其土地々々ニ於テ事情ヲ異ニ致シマス

ル、斯様ナ御答デアッタ、私モ其御述べニナリマシタル所ニハ、至極同感デア

ルケレドモ、此括弧五ノ中ノイ通帳、只今三錢ヲ貼ッテ居リマス、モノニハデス、只今十圓未滿ハ免稅サレテ居ルノデアリマス、故ニ、請求書、後ニハ是ガ受取書ニ變ルモノデアリマス、此一枚ノ用紙代ハ一厘内外ノ價格デア

ルケレドモ、其月末ニ至ッテ、買ッテ呉レ方ノ人ガ、代金ヲ滞リナク拂ッテ呉レバ宜シイケレドモ、之ヲ拂ッテ呉レナイ、故ニ又其次ニ其金額ヲ附込シ、次ノ月ニ買ウテ貰ッタモノヲ書上ゲテ行ク、斯ウ云フ順序ニナル、自然先ノ滞リガ出來ル爲ニ、金額ガ上ッテ行キマス、此ニ於テ通帳ニスルト云フヤウナ實狀ガアルノデアリマス、此通帳ノ現行三錢ヲ五錢トスルト云フコトデ、大藏當局——政府ハ出サレテ居ルノデアリマセヌケレドモ、尙ホ御説明ニ依ルト云フト、此通帳ノ性質カラ言ウテモ、擔稅力ノアルモノノヤウニ御解釋ニナツテ居ルヤウデアリマス、所ガ實狀ハサウデハナイノデ、昨日吉良君ノ言ハレマシタルノト、私ノ申上ゲル所トハ大同小異デアリマセヌケレドモ、併ナガラ所ニ依リマシテ、半期決濟或ハ一年決濟トモナツテ居リマス、私ノ所ハ月ト半期ト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、所ガ其通帳ヲ拵ヘルノハ、右ノヤウナ次第デ、賣掛代金ガ殘ッタト云フ場合、金額ガ上ッテ印紙稅法ノ方ニ觸レルト云フヤウナコトガアリマス、ト、其小賣人ト購買者トノ間ニ於テ、金

錢ノ數字ノ上ニ於テ爭ガ出來マスルノ
デ、已ムヲ得ズ三錢ノ印紙ヲ貼テ通帳
ヲ出シテ居ルノデアリマス、決シテ政
府ガ御覽ニナツテ居ルヤウナ擔稅力ハ
無イノデアリマス、貯蓄銀行或ハ産業
組合ナドノ發シテ居ル貯金通帳ハ成程
零細ナル金デアリマスルケレドモ
是ハ殘タル所ノ——手元ニ殘タル所ノ
モノデアッテ、自分ニ之ヲ利用セズシ
テ、銀行ニ預ケ組合ニ預ケルト云フ場
合デアル、又之ヲ預カル所ノ銀行並
組合ノ擔稅力ノ點ニ於キマシテハ、物
品販賣ナドノ時ニ使フ所ノ通帳ヲ行使
スル人ノ擔稅力トハ、餘程私ハ趣ヲ異
ニシテ居ルト思ヒマスルガ、併ナガラ
貯蓄銀行或ハ産業組合ノ貯金通帳ヲ免
稅サレルト云フコトハ、至極社會政策ノ
效果ヲ舉ゲルト云フコトニ於テ結構ト
ハ存ジマスルガ、併シソレヲ免稅スル
ガ爲ニ、通帳ノ方ノ三錢ヲ五錢ニ上ゲ
テ補フト云フ所ノ御考ハ矛盾シテ居リ
ハシナイカ、是デハ寧ロ委員會ニ於テ
何誰カガ仰セラレタヤウニ、力有ル者
ヲ保護シテ、力無イ者ヲ益事實ニ於テ
誅求サレル傾ニナリハシナイカト本
員ハ疑フ者デアリマス、又判取帳ノ場
合ニ於キマシテモ、是ハ物ノ賣渡シナ
ドヲ證スル爲ニ、或ハ金錢ノ授受ヲ證
スル場合ニ於テ、御互ヒニ使用シテ居
ルモノデアリマスルケレドモ、是ハ主
ニ賣ル方デナクシテ、買フ方ノ人、消費
者ノ方ニ用ヒテ居ルモノノヤウニ思ッ

テ居ルノデアリマスルガ、政府ハドウ
見テゴザルカト云フコトト、サウシテ
此「イロハニホヘトチリ」ト云フ符牒ヲ
打ッテアル所ノ此九項ニ對シテ免稅ス
ル爲ニ、政府ハドレダケ收入ガ減リマ
スカト云フコト、ソレカラ通帳判取帳
ノ方ニ、三錢ヲ五錢トシ二十五錢ヲ五
十錢トスルト云フコトニ依テドレダケ
增收スルカ、之ヲ一ツ御示シテ願ヒタ
イト思ヒマス

金高ガ少ナルノミナラズ、預金者一人
ニ付テノ貯金高モ零細ナモノガ多イノ
デアリマスカラ、少シデモ是等ヲ便宜
ニシテ貯蓄ヲ獎勵シタイ、假令サウ云
フ小額ナ金デモ貯蓄ヲシヤウト云フコ
トハ結構ナコトデアリマスカラ、出來
ルダケ其便宜ヲ圖リタイト云フ趣旨デ
免稅致シタノデアリマス、ソレカラ通
帳ニ付テハ、場合ニ依テハ前御述ベノ
ヤウナコトモアルカモ知レマセヌ、併
ナガラ大體ニ於キマシテ、通帳ハ數個
ノ取引ヲ一ツノ帳簿ニ記載スルノデア
リマシテ、例ヘバ地方ニ於テモ、或ハ家
庭ニ依テ魚屋、八百屋ノ通帳ヲ有シ、是
等ハ毎月々々ノ決濟ニナツテ居ルヤウ
デアリマシテ、毎日々々取引ヲシテモ、
假ニ一月ニ一回ノ決算ヲシテ受取證ヲ
出スト云フコトニシテモ、兎ニ角其通
帳ニ依テ十二回ノ受取ノ效果ヲ持タシ
テ居ルノデアリマス、是ガ若シ通帳ニ
依ラズシテ、其月ノ月末ニ於テ金額ヲ
受取り、サウシテ受取證ヲ出セバ、ソレ
ニ三錢ノ切手ヲ要スル、一年ヲ通ズレ
バ三十六錢拂ハナケレバナラヌト云フ
コトニナリマス、ソレデ之ヲ一ツノ帳
簿デ濟スト云フモノト、ソレ等ノ個々
ノ取引ニ付テ受取ヲ出シテ、一回毎ニ
拂ハナケレバナラヌト云フモノトノ權
衡カラ見マシテ、モ之ニハ相當ノ稅率
ヲ増スト云フコトガ適當デアル、今通
帳ハ一例ヲ申上ゲタノデアリマスガ、
其他ニ或ハ地方ニ依リマシテハ、多少

通帳利用ニ近イモノガアラウト思ヒマ
ス、併ナガラ大體ニ於キマシテ、是ガ數
個ノ取引ト云フモノガ一ツノ帳簿ニ記
載サレルト云フコトハ共通シタルモノ
ト考ヘマスカラ、其點カラ見マシテ便
宜上之ニハ多少増スコトガ適當デア
ル、數回使フト云フ點ニ付テハ、銀行ノ
通帳ト同ジデアリマス、併ナガラ貯蓄
銀行ノ通帳ニ付テハ、前申ス理由ニ依
テ免稅致シタノデアリマス、判取帳ニ
付キマシテモ、或ハ多少違フコトモア
ラウト思ヒマスガ、通帳ノ場合ニ於テ
ハ、當事者ハ一人デアリマスガ、判取帳
ノ場合ニ於テハ、數多ノ當事者間ニ於
テ多クノ取引ヲスルト云フコトニ相成
ルノデアリマス、隨テ通帳トノ權衡カ
ラ見テモ、通帳ヨリ相當稅率ヲ多クス
ルコトガ適當デアルト云フノデ、負擔
ノ均衡ヲ圖リマシテ稅率ヲ増シマシタ
次第デアリマス、其稅額ノ増減ハ、通帳
判取帳デ大體五十四萬圓増ニナツテ居
リマス、ソレカラ減稅ニナリマス方ハ
約二百萬圓弱デアリマス

第五類第二號 登錄稅法中改正法律案(政府提出)外三件委員會會議錄 第五回

○黑田政府委員 貯蓄銀行ノ發シマス
ル貯金通帳、産業組合ノ貯金通帳ヲ免
除スル理由ニ付キマシテハ、只今奧村
委員ニ於キマシテ御述ベニナリマシタ
大體趣旨デアアルノデアリマス、能ク御
諒承下サツテ居ルコト考ヘルノデア
リマスガ、併シ此方ハ擔稅力ガ無クシ
テ、通帳——詰リ銀行ノ預金通帳ヲ除
キマスル通帳ノ方ハ、擔稅力ガ有ルト
云フ風ニ御話ガアリマシタガ、(奧村委
員「違フ違フ」ト呼フ)貯蓄銀行或ハ産
業組合等ノ貯金通帳ヲ免除シマシタ理
由ハ、只今御述ベニナリマシタ通り、是
等ノモノハ零細ナ貯金ヲ致スモノデア
ツテ、即チ貯蓄ヲ獎勵スルト云フ趣旨
カラ免稅致シタノデアリマス、是ハ通
帳ニ比シテ必ズシモ擔稅力ガナイト云
フコトハ或ハ言ヘナイカ知レマセヌ、
併ナガラ大體ガ是ハ零細ナモノデア
ル、サウシテ銀行ノ利子ノ關係等ニ付
キマシテ、只今御述ベニナリマシタカ
ラ繰返シハ申マセヌガ、其一同々々ノ

○奧村委員 只今政府委員ハ深切ニ御
答ヘ下サレマシタケレドモ、私ノ御尋
ネスル點トハ少シ異ツテ居ルヤウデア
リマス、私ハ貯蓄銀行ノ發スル貯金通
帳、積金通帳及積金證書、産業組合ノ發
スル貯金通帳、産業組合又ハ住宅組合
ノ發スル出資帳簿、是等ハ擔稅力ガア
ルノデ、免稅スル必要ハ無イデヤナイ
カト云フヤウナ意味デ申上ゲタノデア

昭和二年二月二日

リマセヌ、是ハ預金通帳ヲ除イタ所ノ他ノ通帳ヲ發行スル所ノ人、即チ主ニ小賣業者デアリマスガ、小賣業者ノ營業狀態或ハ其利益ノ有無ノ點カラ鑑ミマシテ、曩ニ申上ゲタル所ノ貯蓄銀行、産業組合等ヨリハ擔稅力ガナイト私ハ見テ居ルノデアリマス、之ヲ政府ハドウ御覽ニナツタカ、ソレカラ賣買仕切書、又ハ物品有價證券賣買證書、送狀ヲ發行スル所ノ人ハ、矢張通帳ヲ發行シテ小賣ヲシテ居ル人トハ、營業狀態ニ於テ力ガ違フ、而モ其發行スル所ノ人ニ依テ、數ハ違ヒマスケレドモ、比較的力アル者ガ發行スルモノニ免稅ヲサレテ、サウシテ力ノ無イ小賣業者、殊ニ地方ニ於キマシテハ信用購買販賣組合ナドガアリマシテ、是ハ勿論國家ノ見地カラ見マス、無稅デ只今ヤッテ居ルコトハ、至極結構ト私モ思ヒマスケレドモ、信用購買組合ナドト謂ハバ營業上ニ於テ競争ノヤウナ立場ニ至リ、而シテ信用購買販賣組合ト組合員トハ、出資ノ關係ニ於キマシテモ、利益ノ關係ニ於キマシテモ、離ルルコトノ出來ナイ關係ヲ有ッテ居ル、其組合員ヲ前ニハ小賣業者ハ御得意トシテ居ッタノデアリマス、ソコヲ昨日吉良君ガ言ハレマシタ如ク、賣掛金、謂ハバ地方デハ之ヲ營業株トモ申シテ居ルノデアリマシタ、此株ニ依テ僅ニ隋力ニ依テ消費ヲシテ居ルノデ、如何ニモ小賣業者ハ日々營業ガ困難ニナリツツアルノデア

ル、小賣業者ハ寧ロ政府ニ向ッテ、信用購買販賣組合ガ免稅サレテ居ルノダカラ、吾々ニモ此營業稅或ハ其他ノ公課稅ヲ免稅シテ貰ヘナイダラウカト、痛切ニ吾々ニ訴ヘルノデアリマス、然ルニ其困難ニ營業狀態ガナリツツアルモノニ、只今三錢ノヲ五錢ニスル、而モ三錢ヲ五錢ニスル増稅ヲスルト云フ場合ニ於テ、政府委員ハドレダケニシマシテモ月ニ三錢貼ルモノヲ、之ヲ十二月ナラバ三十六錢デハナイカ、ソレヲ五錢ニスルノダカラ擔稅力ガ無イト思ヘナイ、斯様ニ思ッテ御座ル、政府委員ナドガ自身ノ御勝手元ニアルトコロノ通帳、ソレ等ヲ基礎トシア御覽ニナツテ計畫ヲ立テラレルカラ、今ノヤウナ御答モ出テ來ル、又吾々ノ申上ゲタル御了解下サラヌノデアルト存ジマスガ、要スルニ私ハ印紙稅負擔ノ均衡ヲ得セシメルコトニ努メルト云フコトヲ眼目トシテ是ガ出來上ッテ居ルモノデアル以上、免稅サレルト云フコトニ付テ拒ムノデハアリマセヌ、免稅サレルト云フ其恩惠ヲ受ケル所ノ關係當事者ハ非常ニ結構デアアル、又國家カラ之ヲ見ルモ結構デアリマスガ、併ナガラソレト同時ニ一方免稅サレル人ハドウカト云ヘバ、免稅サレルノデハナクシテ、寧ロ七割ノ増稅ニ相成ル、倍額ノ増稅ヲ受ケナケレバナラヌト云フ人ハ、免稅サレル人ミヨリモ私ハ營業狀態カラ言ヘバ、生活ノ上ニ於テ餘程困難ニ陷リツ

ツアル人ガ多イガ故ニ、一貫シテ居ナイデハナイカ、此點ヲ御尋ニスルノデアリマス、賣買仕切書、物件又ハ有價證券ノ賣買ニ關スル證書、送狀ヲ發行スル所ノ人ミト、三錢ノ印紙ヲ貼ッテ物品販賣ナドヲ致シテ居ル所ノ小賣業者トノ比較ハドウ見テ御座ルカ、モウ一應承リタイト思ヒマス

○黒田政府委員 銀行ノ發シマスル通帳以外ノ通帳ニ付キマシテ、却テ銀行ノ發シマスル通帳ヨリモ擔稅力ガ無イデハナイカト云フ風ナ御意見ノヤウニ承ツタノデアリマス、是ハ先程モ申上ゲマシタヤウニ、銀行ノ發シマスル通帳ト他ノ通帳ト比較シマシテ、ドレダケノ擔稅力ガアルカドウカト云フ意味デハナイノデアリマシテ、銀行ノ方ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウナ理由ニ依テ之ヲ免稅スルコトニ致シタノデアリマス、然ラバ普通ノ小賣業者ノ中デモ通帳ヲ發スル、擔稅力ノ極メテ少イモノガアル、然ルニ此發スル通帳ニ對シテ稅率ヲ増スト云フコトハ如何ナルコトデアアルカ、而モソレニ付テ産業組合等ハ、擔稅ノ負擔ヲセズ、サウシテ物品購買或ハ販賣ト云フヤウナコトヲ致シテ、普通ノ小賣業者ノ營業ヲ侵ス、然ルニ一般ノ小賣業者ノ發スル通帳ニ更ニ稅率ヲ増スノハ宜シクナイデハナイカト云フ意味ニ承ツタノデアリマスガ、此産業組合ト普通ノ營業トノ關係ハ、是ハ又別ノ問題デアリマシ

テ、是ハ御必要ガアリマセバ、農林當局カラ又説明モアリマセウガ、是ハ特ニ御説明申上ゲマセヌデモ能ク御承知ノコトト思ヒマス、此産業組合ト普通營業者ト云フモノハ、年ヲ經ルニ從ッテ此産業組合ハ發達シテ行ク、是ガ徒ニ普通ノ營業者ヲ侵スト云フコトハアルベキモノデハナイヤウニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、是ハ別ノ問題デアリマスカラ、其關係ヲ離レテ普通ノ營業者ニ付テ考ヘマス、普通ノ小賣業者ガ若シ通帳ヲ發シナイデ取引ヲ致シマスト、其受取ル所ノモノガ十圓デアリマシタナラバ三錢ノ切手ヲ貼ラナケレバナラヌ、サウナリマスレバ、假ニ一年ノ取引ニ致シマスナラバ相當ニ印紙稅ヲ納ムルコトニナラウト思ヒマス、通帳ニ致シマスレバ先程申上ゲタ通り必ズシモ私ハ十倍トハ申シマセヌ、月ニ或ハ十圓以下ノヤウナ場合モアリマセウカラ、必シモ十倍トハ申シマセヌガ、兎ニ角一回毎ニ發シマスル受取書ニ比ベマスレバ、幾分カソコニ此稅率ヲ重クスルト云フコトガ、即チ通帳ヲ用ヒズシテ商賣ヲ致シテ居リマス所ノ營業者ト通帳ヲ以テ營業スル者トノ間ニ、却テ負擔ノ均衡ヲ得ルモノデアルト云フ風ニ考ヘマス、即チ通帳デハ行キマスレバ、百圓デアリマシテモ千圓ニナリマシテモ兎ニ角五錢デ行クノデアリマス、而モソレガ何回デアリマシテモ五錢デ行ク、若シ普通ノ小賣業

者ガ、通帳ヲ用ヒズシテソレヲヤル場
合ニ於キマシテハ、少ク共三錢以上ノ
印紙稅ヲ納メナケレバナラヌノデアリ
マスカラ、其普通ノ小賣業者ト通帳ヲ
用ヒナイ場合トニ於キマシテ、却テ之
ヲ引上ゲル方ガ均衡ヲ得ルヤウニ考ヘ
タノデアリマス、然ラバ賣買仕切書デ
アルトカ、或ハ送狀ヲ發スル所ノ商人
ニハ免稅ヲシテ、サウシテ通帳ヲ發ス
ルヤウナ小賣ニ對シテ負擔ヲサセルト
云フコトハ、負擔ノ均衡ヲ得ナイデハ
ナイカト云フ御話デアリマス、此點ハ
單ニ擔稅力ノミノ點カラ見マスレバ、
或ハサウ云フ御疑問ノ起ルノモ御尤ト
考ヘマスガ、併シ賣買仕切書或ハ物品、
有價證券ノ賣買ニ關スル證書、送狀、此
三ツノモノニ付キマシテハ、是ハ御承
知ノ通りデアリマス、此取引ガ必シモ
負擔ノ能力ガ無イトハ考ヘナイノデア
リマス、併ナガラ是ガ頻繁ニ日常發セ
ラレマシテ、而モ先程御述ベニナリマ
シタ通り其解釋ニ付テハ屢紛議ヲ生ズ
ルノデアリマス、隨テ此取引ノ上ニモ
敏活ナル取引ヲ阻害スルト云フヤウナ
コトガ起リ得ルノデアリマス、ソレ故
ニ是ハ寧ロ官民間ノ紛爭ヲ除キマシ
テ、稅務行政ノ執行ヲ圓滿ニシテ行キ
タイト云フ趣旨カラシテ是ハ免稅ヲ致
シタノデアリマス、必シモ負擔力ガ無
イカラト云フ理由ノ下ニ免稅ヲ致シタ
ノデハナイノデアリマス

○奥村委員 只今御同致シマシタ點ニ

付テ、是以上質疑ヲ重ネルコトハ意見
ノ相違ト思ヒマスルデ、是ハ是デ打切
リマス、次ハ商工省ノ方ニ御尋ネシタイ
ト思ヒマスレドモ、大藏省ノ方ニモ
ウ一點御同致シタイト思ヒマス、ソレ
ハ昨年ノ稅制整理、其中ニモ重要部分
ヲ占メテ居リマシタ所ノ地租ニ代ル所
ノ土地貨賃ノ問題デアリマスガ、其價
格調査ノ方法デアリマス、過日木暮君
ヨリ御尋ネニナリマシタノニ對シテ黒
田サンノ御答辯ハ、耕地整理ニ關シ縷
縷御述ベニナリマシタケレドモ、ソレ
ハ極メテ僅カナ例外ノ點ヲ以テ木暮君
ノ質問ニ答ヘラレタヤウニ思ヒマス、
併ナガラ吾々ハ賛否ヲ決スルコトニ對
シマシテハ、最早アレ以上承ル必要ハ
無イノデアリマス、併シ私ハ木暮サン
ガ御尋ネニナリマセナシタ所ノ外ノ點
ニ付テ御伺ヒシタイト思フ、此點ハ各
府縣ニ澤山事實ヲ持ッテ居ルノデアリ
マシテ、此點ニ關シテハ地方有志ヲ帶
同致シマシテ、政府、殊ニ大藏省ニ出頭
シテ陳情ヲ致シタノデアリマス、ソレ
ハ即チ排水機ヲ設ケテ、水腐地ヲ良田
トシテ收穫ヲ得ツツアル所ノ問題デア
ルノデアリマスガ、排水機ヲ設ケマシ
タ所ハ申上ゲルマデモナク水腐地デア
ツテ、サウシテ岐阜縣ノ如キハ明治二
十八年ニ之ヲ全國ニ卒先シテ起シタ地
方ガアルノデアリマス、其後眼ノ前ニ
斯ノ如キ有利ナ而モ國家の事業ノ性質
ヲ帶ンデ居ルコトヲ見マシテ、段々是

ガ擴ガツテ參ッタノデアリマス、最近ハ
政府ニ於カレマシテモ、是非食糧解決
ノ爲ニハ此方法ヲ助成完成セヌケレバ
ナラヌト云フノデ、相當ノ金額ヲ以テ
助成サレツツアルノデアリマス、排水
機ヲ設ケマスノハ、假ニ排水機ヲ設ケ、
其他附帶事業ヲ合セテ百萬圓デアリマ
ス、ト云フコトハ申上ゲルマデモナク
政府ガ二分ノ一ヲ負擔致シマシテ、縣
ガ岐阜縣ノ如キハ四分ノ一ヲ負擔シ、
地元ガ四分ノ一ヲ負擔スル、斯ウ云フ
コトニ相成ルノデアリマス、所ガ水腐
地ト申シマス、文字其儘水腐レ地デ
アリマシテ、收穫五年ニ一遍、三年ニ一
遍トカ言フヤウナモノデアアル、ソレモ
十分デナイノデアリマス、故ニ政府ガ
四分ノ二、縣ガ四分ノ一ノ補助ヲシテ
吳レマシテモ、地元ハ中ニ疲弊シテ居
ルノデ事業ヲ起スコトハ出來ナイ、ソ
レデ地元ノ人ハ色ニ奔走致シマシ
テ、サウシテ有ユル金策トデモ申シマ
スカ、ソレヲ講ジテ此事業ヲ起シタ、隨
テ其地價ト云フモノハ申上ゲルマデモ
ナク、非常ニ良田トハ言ハズトモ、普通
ノ水田ガ三十圓或ハ五十圓ノ程度デア
リマス云フト、此排水機ヲ設ケマシ
タ所ハ五六圓カラ十二三圓位ノ地價デ
アルノデアリマス、然ルニ土地貨賃價
格調査ニ依リマス、斯ウ云フ事情ヲ
御考慮ナクシテ、矢張收穫本位デ御調
査ニナルノデアリマス、是ハ地方ノ
稅務官吏ガ惡イノデハナクシテ、私ハ

此法ガ惡イト思フ、木暮君ガ御述ベニ
ナリマシタガ、政府ガ獎勵ヲシテ荒蕪
地ヲ開墾サセ、其能率ヲ舉ゲサセシメタ
メニモ拘ラズ、土地貨賃價格ト云フモ
ノデ現在ノ收穫、或ハ過去五箇年ノ收
入ニ依テ平均率ヲ見テ定メルト云フコ
トニナル、ソレデハ政府ハ地方民ニ對
シテ欺瞞トハ言ハナクトモ、國民ヲシ
テ政府ノ方針ナルモノニ疑ヲ抱カセヤ
シナイカト斯ウ言ハレル、私モ左様ニ
思フ、一體排水機ハ今迄ノ例ニ依ルト
十年ニ一遍位變ヘンケレバナラヌノデ
アリマス、其時ノ地價ニモ依リマス、
レドモ、一反當リガ三圓七八十錢、或ハ
五六圓ト云フヤウナ場合、勿論是ハ十
年ト致シマシテ一年ノ負擔デアリマ
ス、地主ハ一反ニ四五圓ト云フ負擔
ヲ致シマシテ排水機ヲ設ケタ、排水機
ヲ設ケマシテモ、之ヲ運轉シナケレバ
其效果ヲ舉ゲマセヌノデ、雨量ノ多少
ニ依リマシテ、所謂經常費ガ違ッテ參リ
マスガ、是ハ年額反當リ少ナイ時ニ於
テモ二圓二三圓、多イ時ハ六圓位モ
負擔ヲスルト云フヤウナ狀態ニナツテ
居ル、然ルニ土地貨賃價格ノ調査基準
トデモ申シマス、是等ノ事情ハ御考
慮ニナラナイヤウニ承ッテモ居リマス
ルノデ、地方關係民ハサウ云フコトヲ
聞傳ヘテ心配ヲ致シマシテ、他ノ方モ
サウデアリマセウガ、私ハ數度大藏省
ニ出頭シテ、斯ウ云フ現實ニ動カサヌ
ト云フト、機械ガ備ッテ居ッテモ、直ニ元

ノ水腐地ト同ジコトニナツテシマウノ
デアリマス、一面政府ガ半額、地方ノ自
治團體ガ四分ノ一モ負擔シテヤラセタ
仕事ガ、斯ウ云フコトデハ矛盾ノ結果
ヲ現スデハアリマセヌガ、是非トモ土地
賃賃價格ノ調査ニ付キマシテハ、耕地
整理ト此用水ニ代ル——私ノ申シマス
ノハ排水機ノ問題デアリマス、用水ノ
問題デモ、恒久的ノモノモアリマシ、
或ハ年々ノモノモアリマシガ、排水機
ノ如キハ、甚ダクドイ述ベ方デハアリ
マスケレドモ、先ニ述ベマシタ通り大
ニ心配ヲ致シマシテ、此事業ヲ完成セ
シメテモ、之ヲ運用スルニ至リマシテ
ハ、年々ノ經常費、是ハ全部地主ノ負擔
ニ相成ツテ居ルノデアリマスガ、私ハ是
ガ地主ノ負擔デアラウト、或ハ小作人ノ
負擔デアラウト問ハズ、現實ニ是ダ
ケ收穫ニ影響スルモノデアル、之ヲ動
カサナシタラバ、個人ハ勿論國家ニ
取ツテモ大ナル食糧問題ニ影響ヲシテ
來ル問題デアルト、斯様ニ見テ居ルノ
デアリマスカラ、之ニ對シテ政府ハ是
等ノ事情ニ鑑ミテ、ドウ云フ御考、或ハ
方法ヲ以テ此事情ヲ改メラレマスカ、
若シ御考ガアリマシナラバ、御考ヲ承ッ
テ置キタイト思フノデアリマス

○黒田政府委員 排水機ノ問題ニ付キ
マシテハ、奥村サンカラモゴザイマス
シ、又色々陳情等モ出テ居リマスノデ、
十分ニ研究ヲ致シテ居リマス、現ニ最
近ニモ特ニ本省カラ人ヲ出シテ調査ヲ

サシテ居ルヤウナ次第デアリマス、十
分研究致シテ居リマスルガ、此賃賃價
格ノ趣意カラ申シマスレバ、即チ地主
ガ取得致シマス所ノモノヲ主トシテ標
準ト致スノデアリマス、併ナガラ此排
水機ニ付キマシテハ、色々只今モ御述
ベニナリマシタ通り、特殊ノ事情ガア
ルヤウニモ考ヘルノデアリマシテ、之
ニ付キマシテハ賃賃價格ヲ決定スル際
ニ於キマシテ、相當斟酌シナケレバナ
ラヌモノト云フ考ヲ只今モ持ッテ居リ
マス、併シ只今色々調査ヲ致シマシテ
居リマスノハ、ソレニ拘ハリマセズ、小
作料幾ラ、サウシテ排水機ナラバ排水
ノ費用ガ幾ラ要スルカト云フ風ナコト
ヲ調査シテ居リマス、唯々小作料ノ方
ヲ調ベテ居ル點カラ御覽ニナルカラ、
何等考慮シナイデ、直接小作料其儘カ
ノヤウニ御覽ニナル場合モアラウカト
思ヒマスガ、吾々ノ方デハ色々ナ事情
ヲ調査致シマシテ、ソコデ最後ノ決定
ヲ致シマスル際ニ、斟酌致スベキハ斟
酌致シ、斟酌致サナイモノハ斟酌致サ
ナイト云フ主議デ調査ヲ致シテ居リマ
ス、只今ノ排水機ノ問題ニ付キマシテ
モ、相當考慮ヲシナケレバナラヌモノ
ト云フ考ヲ持ッテ調査ヲシテ居リマス
カラ、左様御承知ヲ願ヒタイ、唯々此機
會ニ耕地整理ノ事ニ付キマシテ、過日
木暮サンカラ御質問ガアッタニ付キマ
シテ、幾分マダ御諒解ニ相成ラヌ點ガ
アルカノヤウニモ考ヘマヌルノデ、序

ニ申上ゲマス、大體此賃賃價格ノ事ニ
付キマシテハ、不日賃賃價格調査委員會
法ニ關シマス法律案ヲ提案スルコトニ
ナラウカト考ヘテ居リマスノデ、其際
ニ於キマシテ實ハ色々詳シク申上ゲヤ
ウト考ヘテ居リタノデアリマス、耕地整
理ノ事ニ付キマシテモ、色々調査モ進
メテ居リマスシ、各府縣ニ於キマシテ
數箇所實際ノ所ニ付キマシテ、全國ニ
付テ調ベタ報告モ持ッテ居リマス、其報
告ニ依リマス、過日私ガ一寸例ニ舉
ゲマシタナラバ、如何ニモ稀有ノ例デア
ルカノ如ク御覽ニ相成リマシタヤウデ
アリマスガ、或ル耕地整理地區ニ於キマ
シテ、其今日ノ總地價ト云フモノト、其
地區ヲ今度政府當局ニ於キマシテ假ニ
調査致シマシタ總賃賃價格ヲ比較致シ
マス、其耕地整理ノ現在ノ地價ヨリ
モ、此總賃賃價格ノ方ガ低クナツテ居
ル、ソレ等ノ調査モ致シテ居ルノデア
リマス、是ハ過日モ申上ゲマシタ通り、
此地租條例ノ根本的ノ改正ヲ致シマス
ル際ニ於キマシテ、耕地整理ニ付キマ
シテモ適當ニ考慮ヲ致シ、決シテ從來
ノ耕地整理ヲ獎勵シテ居ル趣旨ニ矛盾
スルコトノナイヤウニ適當ナ方法ヲ執
ル積リデアリマス、ソレ故ニ此機會ニ
一應申上ゲテ置キマス

○奥村委員 土地賃賃價格ノ調査法ヲ
提案スル機會ガアルカラ、其時ニ此問
題ニ付テハ詳細ニ述ベル機會ガアラ
ウ、斯様ナ黒田政府委員ノ御聲明デア

リマスシ、尙ホ此問題ニ付テ質疑シタ
イノデアリマスケレドモ、何レサウ云
フ機會ヲ待ツテ御尋ネスルコトニシテ
是ハ打切りマス、次ハ商工省ノ御方ニ
御伺ヒスルノデアリマス、今回御提案
ニナリマシタ所ノ酸化「コバルト」ハ無
稅ニ相成ツタノデアリマスガ、其酸化
「コバルト」ハ昨年ノ五十一議會ニ於キ
マシテ、本品ハ皆様カラ土地ノ關係上
酸化「コバルト」竝金液ノ問題ニ付テ
ハ、奥村君ガ知ツテ居ルカラ、政府ト質
疑シテ吳レト云フコトデアッタノデ
アリマス、デ私ハ多少其事情ハ知ツテ居
リマスガ故ニ御尋ネシタ、其質疑應答
ノアリマシタコトハ、速記録ニ依テ實
ニ明白ナル問題デアッタ、政府ハ頑強ニ
私ノ說ヲ否認シマシタノデアリマスガ、
今回ハ所謂本案ヲ本會議ニ提案スル時
ニ、大藏大臣ガ虛心坦懷ニナツテ無稅ト
致シタノデアルト言ハレタ、サウスル
ト彌次ガ出マシテ「兜ヲ脱イダカ」斯ウ
云フヤウナ彌次モ飛ンデ居ッタノデア
リマス、先日何カノ時ニ於キマシテ、本
會デ吉良君ガ演壇ニ立タレマシテ、稅
務官ハ兎モ角モ、技術者ハ自分ノ主張
ヲ固執セラレル傾ガアル、斯ウ言ウテ
酒稅法カ何カノ事ニ付テノ御話ガアリ
マシタガ、私ハ昨年ノ議會ガ政府ニ要
望致シマシタ二十數科目ニ涉ル所ノ附
帶希望、此中ニ殊ニ商工省ノ鑛山局ニ關
係ノアルモノガ酸化「コバルト」外ニ有
ルカ無イカ、有ルナラバ之ニ對シテ如

ルカ無イカ、有ルナラバ之ニ對シテ如

何ナル御見解ヲ持ッテゴザルカト云フコトト、又政府ハ此議會ノ希望ニ對シマシテ、常設委員ヲ設ケテ研究シ、次ノ議會ニ必ズ御答ヘスル、斯ウ云フコトヲ言明ナサツタノデアリマス、ソレデ礦山局長ニ御伺ヒ致シマスノハ、希望條項ノ中ニ酸化「コバルト」ノ外ニアルヤ否ヤ、アレバソレニ對シテ只今御調査ニナツテ居ル次第柄ヲ玆ニ御聲明ヲ願ヒタイ、又政府ニ伺ッテハ關稅常設委員會ニ於テ、此委員會ガ出來テカラ今日マデ、ドノ程度マデ行ッテ居ルカ出來ルナラバ速記録デモ御示シニナツテ、サウシテ吾々ニ満足ヲ與ヘテ貰ヒタイト思フノデアリマス

○黒田政府委員 御尋ネハ商工省ト云フ御話デゴザイマシタガ、關稅調查委員會ノ調査ガドノ程度ニ進ンデ居ルカト云フ御話ノ大體ノ事ニ付キマシテハ、私カラ申上ゲマシテ、尙ホ只今御指定ニナリマシタ鑛山局ノ關係ハ、鑛山局長カラ御答致スコトニ致シマス、關稅調查委員會ニ於キマシテハ、前議會ニ於キマシテ御希望ノ決議ニナリマシタ所ノ品目ハ、全部諮問ニ相成ッテ居ルノデアリマス、ソレ等ニ付キマシテ全部ニ對シテ調査ヲ進メテ居ルノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ先ヅ之ヲ關係各省ノ者カラ成ッテ居リマスル所ノ幹事ニ於テ十分ニ調査研究ヲシテ一應ノ案ヲ作ッテ委員會ニ出シテ貰ヒタイ、サウシテ其上デ委員會ニ於テ十分ニ研

究ヲスルト云フ話デアリマシテ、幹事ニ於キマシテ、一週間ニ少クトモ一回二回若クハ三回モ會合致シマシテ、研究ヲ致シテ參ッテ居ルノデアリマス、其結果先日モ一寸申上ゲマシタノデアリマスルガ、砂糖ハ御希望ノ決議デアリマセヌデシタガ、當時砂糖ニ付キマシテハ稅率ヲ据置キマシタ理由ヲ申上ゲマシテ、即チ砂糖ノ消費稅トノ關係ガアルノミナラズ、未ダ十分ニ調査モ結了シナイ爲ニ、假ニ之ヲ現行稅率ヲ据置イテ居ルノデアッテ、尙ホ研究ヲ進メテ居ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、此事ニ付キマシテハ委員會ニ於テ十分考究ヲ致シマシテ、消費稅ト共ニ只今玆ニ御審議ヲ願ッテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、其他ノ御希望決議ニナリマシタ物ニ付キマシテハ、此酸化「コバルト」ニ付キマシテハ、只今御承知ノ通り玆ニ免稅ヲスルト云フ案ヲ作リマシテ、改正案ヲ提案シタ次第デアリマス、其他ノ物ニ付キマシテハ、小麥小麥粉、是ハ貴族院ノ方ノ御希望デアッテ諮問ニナッタノデアリマスガ、之ニ付キマシテハ現行ノ稅率ヲ今日ニ於テハ据置イテ宜シイ、尙ホ將來ニ付テハ考究ハ勿論進メルノデアリマスカ、今日ノ狀態ニ於テハ据置クコトガ然ルベシト、委員會ニ於テハ決議ガアッタノデアリマス、ソレカラ鳥獸肉、其中ノ牛肉、豚肉、鶏肉、魚介類ノ清鮮ナルモノ、乾魚及乾肉生絲印刷用紙ノ内「アトトベ」等モ「其他是等モノニ付キマシテハ、委員會ニ於キマシテモ現行ノ稅率デ前申上ゲマスル通りノ趣旨ヲ以テマシテ、今日之ヲ變更スル必要ハナシト委員會デ決議ガアリマシタノデアリマス、隨テ委員會ノ決議ガアリマシタガ、修正案ヲ提出スル必要ガナイノデ、其儘ニ致シタノデアリマス、其他ノ物ニ付キマシテハ、今日調査ガマダ未了ニ屬スルノデアリマシテ、幹事ニ於キマシテモ各品目ニ付テ數回ノ協議ハ進メテ參ッテ居ルノデアリマスケレドモ、又色々ナ研究材料等ハ當業者ヲ招致致シマシテ、親シク當業者ノ意見ヲ此處デハアリマセヌガ幹事會ト致シマシテ徵シマシタモノモアルノデアリマス、或ハ工場等ニ付キマシテ、其生産ノ狀況ヲ調べ、是モ一回デハイケナイ、數回之ニ對シテ調査ヲスルト云フヤウナコトデ、慎重ニ實ハ調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、先般ノ五十一議會ニ於テ御協賛ヲ仰イダモノデアリマスカラ、之ヲ變更シナケレバナラスト云フコトニナリマスレバ、十分ニ考究シテ、誤リノナキコトヲ期セナケレバナラストデアリマスカラ、十分ニ考究ヲ致シマシタガ、今日ニデハ間ニ合ハナカツタノデアリマス、併ナガラ實ハ明日モ幹事會ヲ開クコトニ致シテ居ルノデアリマシテ、一日モ怠ラズ調査ハ進メテ參リ積リデ居ルノデアリマス、大體ノ經過ハ左様デアリマス

○奧村委員 速記録ハ出來テ居リマセヌカ

○黒田政府委員 速記録ハ出來テ居リマス分ハ御目ニ掛ケルコトハ出來ルト思ヒマス、是ハ會長ニ一應相談シマシテカラデナイト、私カラハッキリ御答出來マセヌガ、會長ニ一應相談ヲ致シマシテ、ハッキリ御答ヲスルコトニ致シマセウ

○三井鑛山局長 先程ノ鑛山局ニ關係シマスルコトニ付キマシテ一寸御答ヲ申上ゲマス、鑛山局關係ニ於テ、昨年ノ議會ニ於キマシテ只今黒田政府委員カラ御答ガアリマシタ如ク、更ニ關稅調查會ニ於キマシテ審議ヲスルト云フ御希望ニナツテ居リマスルノハ酸化「コバルト」其外ニハ鐵デゴザイマス、鐵ハ特殊鋼ヲ除イテ銑鐵、鋼材「リード」イヤ「線索、燃合線、斯ウ云フコトニナツテゴザイマス、此鐵ノ問題ニ付キマシテハ、商工省ト致シマシテハ相當慎重ニ審議ヲ致シテ居リマシテ、一面ニ於キマシテ鐵鋼材ニ付キマシテ、民間ノ者ヨリ成ル審議會ガ出來マシテ、輸入鋼材ノ不當廉賣デナイカト云フ審查ヲ要求セラレテ居ルモノデアリマス、此審查會モマダ結了致シマセヌ、是モ目下審議中デゴザイマスガ、彼此商工省ト致シマシテハ其審議ノ結果モ參照致シマセヌケレバナナリマセヌノデ、今玆ニ關稅ノ改正ヲドウ致スト云フコトヲ明言致シマス時機ニ達シテ居リマセヌ、

左様御諒承ヲ願ヒマス

○奥村委員 黒田政府委員ニ御同致シマスルガ、昨年「コンスタート」ノ問題ニ付キマシテハ、本員ノ見ル所ト黒田政府委員ノ見ラルル所ハ反對ニナッテ居ル、其反對トハ、吾ミハ食用ニ一割五分、輸入ノ八割五分ハ工業用デアルト私ハ主張シタ、黒田政府委員ハ是ト反對ノ見解ニ依テ御答ニナッタノデアリマスガ、其後私ハ之ヲ使用サルルヤウニ思ハレル所ノ工業家トデモ申シマスカ、所謂紡績業者ナドニ付テ尋ネ、又之ヲ扱ッテ居リマス所ノ大阪ノ日清紡績株式會社、是ニ就キマシテモ其販路ヲ調査致シタノデアリマスガ、矢張私ノ申上ゲマシタル點ト異ッテ居ナイ、故ニ工業用デアリマスルニ依テ、是ハ少ナクトモ此税率ニ付テハ一圓六十五錢ヲ四圓五十五錢ニ引上ニナッタノデアリマスルニ依テ、斯如キ事ハ非常ニ今日ノ産業ヲ壓迫スルモノデアアル、關稅定率法ヲ改正スル趣意ニモ反シテ居ルト云フコトヲ私ハ當時述ベテ置イタノデアリマス、然ルニ政府ハ今尙ホ斯ノ如キ單純ナル問題ヲ御提案ニナラヌ所ヲ見ルト、先天的ニ何カ御考ニナッテ居ルノデハナイカト思フ、當時「コンスタート」日本デ製造スル所ハ二箇處アツテ、今是ダケノ保護ヲスルト獨立スル、又此原料タル玉黍ノ如キモノモ日本デ段段作付セラレルト仰シヤッタ、私共ハソレヨリモ吾ミノ生活ニ必要ナル米トカ

小麥ヲ作付スル方ガ宜カラウ、滿洲ノ玉黍ヲ輸入シテ之ヲ粉ニスルダケデ、僅カニ勞力ヲ之ニ向ケルダケデアアルガ、ソレガ爲ニ一圓六十五錢ノモノヲ四圓五十五錢ニ引上ゲルト云フヤウナコトハ、産業助長ノ精神ニ反シハシナイカト云フコトヲ、念ヲ入レテ御尋ネシテ置イタ、其當時ハ意見ノ相違ト云フコトデ別レマシタ、又其後ノ議會ノ空氣ニ依リマシテ、希望條件トシテ是ガ入ッテ居ルノデアリマス、私ノ手許ニモ二三通當業者カラ手紙ガ來テ居リマスガ、大日本紡績株式會社ソレカラ鐘ケ淵紡績株式會社ニ依リマシテモ「コンスタート」ノ代リニ糊ノ原料トシテ使フ物ガ無イカラ、稅ガ引上ゲラレテモ之ヲ使ッテ居ル、ソレガ爲ニ吾ミノ店デモ數萬圓ノ重イ負擔ヲシテ居ル、ソレダケガ輸出品ニモ影響シ、内地消費者ニモ影響シテ居ルト云フ陳情ガ來テ居リマスガ、大藏省殊ニ黒田政府委員ハ「コンスタート」ニ對シテ今日ハ如何ナル程度ノ御調査ニナッテ居リマスカト云フコトヲ伺ヒマス、ソレカラ「オレイン」ノ問題ニ付テ、是モ希望ヲ致シタノデアリマスガ、之ヲ當業者ニ聞イテ見マス、染料ト同様「グリセリン」ヲドウシテモ獎勵發達セシメナケレバナラヌト云フノデ、日本「グリセリン」工業會社ニ大正五年カラ十一年迄ノ間ニ約六百萬圓ノ政府ハ補助ヲシテ、此事業ヲ助長セシメツアッタノデアリマ

スガ、歐洲戰爭ノ結果トシテ廢メルコトニナッタ、併シ政府ト「グリセリン」會社トノ契約ハ、十四年迄補助スル契約デアッタ、ソレヲ大正十一年ニ「グリセリン」會社ガ辭退シタノダサウデス、其際政府ハ「オレイン」ナドモ關稅ノ率ヲ改正シテ保護シタルカラト云フ、暗黙デアリマセウガ、辭退シタ誠意ニ對シテ「オレイン」ノ關稅ヲ引上ゲル約束ヲシタサウデス、是ハ毛織工業ノ調毛用ニ使フコトハ申ス迄モアリマセヌガ、是等ニ對シテハ昨年議會ノ希望デアルト同時ニ、當業者ニ對シテモサウ云フ約束メイタコトヲシテ置キナガラ、之ニ對シテ尙ホ御提案ノ無イト云フコトハ、國民ヲシテ政府ノ信ヲ疑ハシメルモノデアリマスカラ、此際御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○黒田政府委員 「コンスタート」ニ付テ、前議會ニ於テ主トシテ食料ニ使フモノガ多イト申上ゲタコトハ事實デアリマス、當時私ノ手許ニアリマシタ調ベハ左様ニナッテ居リマシタ、是ハ當時主トシテ東京地方ニ於ケル調ベデアッタコトガ分リマシタ、然ルニ更ニ調査ヲ致シマシタ結果ハ、只今奥村サンノ仰シヤル通り、大部分ハ工業用デアルト云フコトヲ認メタノデアリマス、併ナガラ然ラバソレダケデモツテ、直ニ率ヲ變ヘナケレバナラヌカト申シマス

ト、是ハ又多少考ヘナケレバナラヌト思フ、當時之ヲ上ゲマシタ理由ハ別ニ

アル、上ゲマシテモ其消費ガ主トシテ食料デアルカラ、差支ナカラウト申シタノデアリマスガ、ソレノミガ必シモ之ヲ變更スルノ理由ニハナリマセヌ、併シ左様ニ申シマシテ、食料デナイカラ差支ナイト言ッタナラバ、食料デアレバ幾ラカ下ゲル必要ガアルデハナイカト云ヘバ其通りデアリマシテ、ソレデ實ハ之ニ付テハ目下研究致シテ居リマス、之ヲ據置クト云フコトニハ決定ヲシテ居リマセヌ、目下關係省ナド協議ヲ進メテ居ル點モアリマスノデ、今日マダ決定ハシテ居ラヌ次第デアリマス、事實ヲ誤ッタコトハ其通りデアルト云フコトヲ茲ニ明白ニ申上ゲテ置キマス、ソレカラ「オレイン」ニ付テ何カ約束ヲシタト云フ御話デアリマスガ、是ハ私何等承知ハシテ居リマセヌガ、之ニ付テモ矢張研究シテ居リマス、マダ其結論ニ達シテ居リマセヌヤウナ次第デアリマス、是ハ特ニ「オレイン」ガムヅカシイト云フ問題デハアリマセヌガ、澤山ノ品目デアリマスノデ、著々ヤツテ居リマスガ、マダ決定ニ至ラヌ次第デアリマス

○奥村委員 商工省ニ伺ヒマスガ、稅番二百四十五番ノ金液ノ問題デアリマス、今日工務局長ガ御出ニナリマセヌガ、何日頃御出ニナリマスカ

○奥村政府委員 工務局長ハ病氣デアリマシテ、専門ノ事デアリマスカラ、其方ノ技師ガ來テ居リマス

○奥村委員 技師ノ御方デモ結構デアリマスガ、昨年議會デ局長ガ答ヘマシタ點ニ付テ、責任ヲ帶ンデ答ヘルコトガ出來マセウカ、私ハ昨年ニ引續イテ局長ノ御答辯ヲ得タガ、本件ノ解決上非常ニ好都合デアルト思ヒマスガ、何日頃其病氣ガ癒ルカ分リマセヌカ

○野村政府委員 實ハ奥村サンカラ工務局長ト云フ御註文デアリマシタカラ、工務局長ニ交渉致シマス、病氣ノ爲ニ今奥村君ノ御述ベニナッタ通り、何時療ルカト云コトハ分リマセヌ、ドウシテモ工務局長ノ答辯ヲ求メラルナラバ兎モ角、今此所デ明日トモ明後日トモ申上ゲ兼ネル、隨テ御延期ヲ願フヨリ外ハ仕方ガアリマセヌ、併シ事専門ニ互ツテ、金液ノ事ナドハ、技術上ノ要素モアルコトデアリマスカラ、其主任ノ技師ガ此所ニ參ッテ居ルノデアルガ、併ナガラ主任ノ技師ノ説明ニ對シテ責任ヲ持テルカ持テヌカト云フ御問デアリマシタガ、之ハ勿論主任ノ技師ノ申シタコトニ對シマシテハ、政府ハ責任ヲ持ツノデアリマス

○奥村委員 ソレデハ質疑ヲ致シタイト思ヒマス、酸化「コバルト」ニ對シマシテハ、工務局長ガ洵ニ虚心坦懷ト仰シヤラレマシテ、サウシテ玆ニ提案ヲ見ルニ至ツタコトハ、洵ニ至極結構ナ事デアリマス、同時ニ之ト同ジ論旨ニ依リマシテ、第一昨年宮内工務局長ト質疑ヲ重ネタノデアリマスルガ、其時ニ私

ノ主張ハ、日本ニ金液ナルモノハ完成シテ居ナイ、完成シテ居ナイモノニ重税ニ等シイ所ノ關稅ヲ、殊ニ始メテ取ルト云フヤウナコトハドウ云フモデアルカ、而モ金液ヲ使用シタル所ノ商品ハ海外ニハ多量輸出サレルノデアル、國內デハ全濟トシテノ完成ハ見ナイ、マダ工業ガ幼稚デアアル、此場合國民ハ辛棒シナケレバイカヌケレドモ、陶器ハ領土ヲ一遍放シテ外ニ行ク所ノ品物デアアル、此品物ニ對シテ最後ノ化粧タル所ノ金液ヲ相當ニ出シテヤル、所ガ日本デ出來掛ケタラソレヲ一人前ニ仕立テナケレバイカヌ、此關稅ノ障壁ヲ設ケルノダト、左様ナコトハイケヌト私ハ申シタ、故ニ金液ハソレナラバ何處ニ出來テ居ルカト云フコトヲ政府委員ニ御尋ネシマス、名古屋ノ「センクバイル」ト云フ商會ガアツテ、其所デ拵ヘテ居ル、斯ウ云フ御話、此「センクバイル」ノ品物ハ私ハ良クナイト云フテ、現物ヲ見セテ御話ヲ致シマシタラ、

宮内政府委員ハ尙ホ言葉ヲ重ネテ、此外ニ大阪工業試驗場ニ於テ研究ヲ終ッテ、特ニ特許ヲ得タ所ノ良イ品物ガ出來タ、ソレハ速記録ニ明カデス、其品質ニ於テハ米國ノ「ハノリヤ」會社ナドノモノト匹敵ヲ致シテ、敢テ遜色ガナイノデアリマス、此大阪工業試驗場ニ於キマシテハ、既ニ之ヲ宣傳致シマシテ、サウシテ使用サレタイト云フ爲ニ當業者ノ有力ナ十人バカリノ團體ヲ

造リマシテ、金ヲ集メマシタ、サウシテ既ニ多ニ其方ニ向ッテ進ンデ居ル、而シテ之ハ方法ガ少シ違ヒマスサウデアリマルガ、此方ガ餘程良イモノガ出テ居ルノデゴザイマス、此點ハ當業者諸君ノ方ニハマダ分ラナイカモ知レマセヌガ、併ナガラ「センクバイル」商會ニ於テ造ッテ居リマス所ノモノハ、之ヲ使用致シテ居リマス所ガゴザイマシテ、唯ミソレヲ使用スル上ニ於キマシテ外國品ニ比ベマスト、始メ生ノ場合ニハ少シ色ガ黒イ、使用ニ馴レタ結果ト致シマシテ、少シ色ヲ薄メルト云フヤウナコトヲ致シテ、當方ノ生ノ場合ヲ比較致マシテ同ジヤウナ色ニナリマシタ時ニ、ソレヲ使フト云フヤウナコトヲヤツテ居ルサウデゴザイマスルガ、ソレハ使用法ニ慣熟致シマセヌカラ出テ來ルノガアリマス」ト言ウテ、此速記録ニ付テ見マシテモ「センクバイル」ノ品物ヲ辯護シ、併セテソレ以上大阪工業試驗場ニ立派ナモノガ出來テ、サウシテ金液ヲ使用スル當業者ニ有力ナルモノガ十人程集ッテ、サウシテ今著々ト進ンデ居ル、サウシテ之ハ國產品ヲ獎勵スル見地カラ見マシテモ、至極結構デアルト言ウテ、私ノ說ヲ反駁サレタノデアリマス、所ガ其後ノ經過ニ依リマスルト云フト「センクバイル」ノ品物ニ付キマシテハ、今尙ホ完成シテ居リマセヌ、殊ニ宮内工務局長ガ聲ヲ大キクシテ言ヒマシタル大阪工業試驗物ノ米田

某ナル者ノ——技師デアリマスルガ、其人ガ特許ヲ得タ、既ニ製造ニ著手シタナント云フコトヲ言ッテ居ラレル、所ガ本色ガ其後ソレ——調査ヲ致シマシタ、或ハ當業者、特ニ此金液ヲ使用致シマスモノハ名古屋ヲ殆ンド中心ト致シテ居ル、名古屋ノ當業者ノ間ニ金液ヲ使用スル者デ繪付業者ト言ヒマシテ、其繪付業者ノ部長ヲシテ居ル所ノ高木由之助ト云フ人ノ居ッタ所ニ參リマシテ、又現場ニ行ッテ見マス所ニ依リマシテモ、洵ニ宮内政府委員ノ言レテ居ルコトハ、悉ク遺憾ナガラ裏切ラレテ居ルノデアアル、今日臆測ハ御無禮ナコトニ互リマスカラ致シマセヌガ、洵ニ宮内工務局長ガ病床ニ在ルト云フコトハ、私ハ甚ダ遺憾ニ思フ、故ニ先ヅ其「センクバイル」ヨリモ良イト言フテ、

最後ニ私ニ有力ナル材料トシテ反駁ヲ試ミラレテ居ル大阪工業試驗場ノ米田技師ガドウシテ居ルカト云フコト、或ハ現品ニ付テ、一ツ當局ト質疑ヲ重ネタイト思フノデアアル、之ハ實際問題デアアル、酸化「コバルト」ノヤウニ一遍ダケハ之ヲ押通スコトガ出來テモ、洵ニ天空海潤ノ如ク、次期ニ於テ自發的ニ其提案ニナルノハ理ノ當然デアアル（「ヒヤヒヤ」米國カラ這入りマシタモノト「センクバイル」ヨリモ尙ホ良イト特許ヲ得タ、其製造工業ニ當業者ヲ狩集メテ著手ヲシテ居ルノダト五十一議會ニ於テ言ハレタ、其金液ニ依テ、當業者ガ

第五類第二號 登錄稅法中改正法律案(政府提出)外三件委員會議錄 第五回

ヤッテ見マサルト、大阪工業試験場ノ米田技師ノ金液ハ、非常ニ線ヲ引イテカラ滲ンデ行ク、隨テ光澤ガ惡クナル、繪附ケガ鮮明ニ出來ナイ、之ニ依テ名古屋陶器業ノ同業組合ノ第三部長デアル高木由之助ト云フ人ガ、大阪工業試験所ニ行ッテ此金ガ滲ムト云フコトハ、或ル藥ヲ調合サセルトサウ云フコトニナラヌガト言ッテ、其事ヲ注意旁々之ニ對シテ出資ヲシヤウト云フ意味ニ於テ、高木君ガ大阪工業試験所ヲ訪ネタ、サウスルト第一回ノ時ニハ、米田君ハ今病氣デアルト言フ、今度改メテ行クト、職ヲヤメラレタト言フ、然ラバ金液ノ力ガ發展シテ、官吏トシテ職ニ居レナイノカト言ッテ所ガ、サウデハナイ、何デモ神經衰弱ニ罹ラレタト言フ、サウシテ其事情ヲ陳情シヤウトシテ、高木ト云フ人ガ名古屋陶器業ノ組合ヲ代表シテ、商工省ニ宮内工務局長ヲ訪ネルト、中ニ御面會ガ出來ナイ故ニ、竹内工政課長ニ會ウタ、サウスルト竹内工政課長ノ言ハレルニハ——私速記的ニ高木君カラ述ベラレタコトヲ書イテ居リマスガ、實ニ馬鹿氣切ッタ言葉ヲ以テ色色言ッテ居ラレルガ、左様ナコトハ切捨テマシテ——「センクバイル」ノ品物ハ惡イト云フクレドモ、大變良イ、此頃「センクバイル」ノ「デシヤ」ト云フ技師ガ本國ヘ研究ニ歸ッタガ、ソレカラ大變品物ガ良クナッタト言ッテ居ル、最モ御承知ノ通り「センクバイル」ト云フモノ

ハ、日獨戰爭ノ捕虜デアリ、其捕虜一人ノ「デシヤ」ト云フ者ガ金液ヲ製造スルト云フハ、名古屋ニ「センクバイル」ト云フ名ヲ打ッテ此事業ヲ起シタノデアリマスガ、ソレガ昨年ノ議會ニ於テハ、今デモ十分デハアルガ、尙ホソレ以上ノ製品ガ出來テ居ルト言ッテ、特ニ工務局長ガ反覆説明セラレタ、所ガ今度ハ特許ヲ取ッタト云フ米田技師ガ、今申シマシタ事情デ退官シ、只今其事業ト離レテ居ルト言フ、政府ガ之ニ對シテ答フル所ハ、獨逸ノ技師ノ「デシヤ」ガ本國ニ行ッテ研究シタカラ、今度ハ良イ品物ガ出來ル、モウ宜イヨト言フ、洵ニ技術家ト云フモノガ自分ノ特長ヲ御調ベニナルコトハ至極結構デアルガ、併シ一人ノ獨逸ノ技師ガ本國ニ行テ研究シテ來タカラ良クナルト言フ所ガ「センクバイル」ノ内容ヲ調査シテ見ルト、他ノ日本人ニハ此製造方法ヲ教ヘナイ、教ヘナケレバ若シ國際關係ニ間達ガ生ジマシタ時ニハ、此技師ハ引上ゲテシマフ、サウスルト政府ガ自給自足ノ大方針ニ合致シテ居ルト言フ所ノ「センクバイル」ノ金液製造事業モ、根本ガナクナッテシマフ、昨年ノ議會デ政府委員ハ金液ハドウシテモ自給自足ヲシナケレバナラヌ、ソレニハ以前歐洲戰爭ノ結果、金液ガ日本ニ這ヘラナカタ爲ニ、米國ニ實物ノ金ヲ送ッテ交換シタト云フ苦イ經驗ガアルト説明セラレタ、然ルニ昨午有力ナル材料

ニシテ居ッタ米田技師ハ雲散霧消シテシマッタカラ、今後ハ獨逸人ノ心ノ動キ方ニ依テ金液ヲ左右セラレル狀態ニナル、其結果其土臺タル陶磁器業ニ一大破綻ヲ來スコトガアルト思フ、昨年工務局長ガ言ハレタ如ク、果シテ米田技師ガソレダケノ製品ヲ造ラレルカドウカモ疑ハシイ、尙ホ是ガ試驗ニ付テハ、名古屋工業試験所デ、政府ノ方ミト當業者ト立會フコトニナッタノデアリマスガ、其時ニハ洵ニ成績ガ不良デアッタ、其報告ヲ聞イテ私ガ宮内局長ニ質シタ所ガ、餘リ當業者ガ脅迫ノ態度デ居ッタカラ、成績ガ惡クッタ言ハレタ、人ガ多イト金ノ「テリ」ガ惡クッタリ、金ノ性質ガハッキリシナカッタリスルト云フコトニ私ハ疑ヲ持ッテ居ッタ、然ルニ半年カ十月ノ後ニ製造者自ラ職ヲ離レタト云フ、洵ニ何レノ方面カラ言ヒマシテモ、マダ此事業ハ吾ミガ安心スル程度ニ至ッテ居リマセヌ、殊ニ商工省ニ於カレテ當業者ノ陳述ニ對シテ、君等ハサウ運動費ヲ使ッテマデヤラヌデモ宜イデハナイカ、一萬圓位使ッテサウダガ、ソシナコトハ餘計ナコトダト言フ、當業者ハ一萬圓ナンテ使ッチャ居リマセヌ、人ヲ煩ハシマスト費用ガ要リマス、私ハ繪附ケ屋デアルカラ私ガ來テ貴方ニ事情ヲ申述ベテ居ルノデ、此陳情書モ組合ノ事務員ニ命ジテ自分ノ考ヘラ書カシタノデアリマス、斯ウ申シタ、サウシテ翌日又其一萬圓

ノ運動費ノ話ヲシタラ、ソシナコトハサウ云フ意味デ言ッタノデハナイ、ソレ位金ガ要リヤシナイカト言ッタノダト訂正サレタサウデアアル、繪附ケ業ハ陶器ノ一部分ヲ成シテ居ッテ、金額ニシテモ少イ、其少イモノガ運動費ニ一萬圓モ使フ筈ガナイ、假ニ一萬圓使ッタニシテモ、何トカ輸入稅ヲ免除シテ貰ヒタイ、此世界の不景氣——殊ニ南洋向ノ陶器ニ付テ獨逸品ガ非常ニ這入ッテ來タ、此獨逸品ト對抗スル上ニ於テ、僅カ三厘カ四厘ノ爭デアルト云フヤウナ爲替關係ヤ、色々ノ點ニ於テ、寸時モ油斷スルト損害ガアルノデアアルカラ、何トカ體裁ノ良イ品物ヲ造ッテ對抗シナケレバナラヌ、是ハ獨逸カラ「シンガポール」ニ賣ッテ居ル品物デアアル、此生地ガ非常ニ白イガ、白イガ故ニ從テ此金モ非常ニ艶良ク貼レテ見エル、日本ノハ斯ウ云フモノデ「ラスター」ヲ熱シテアルコトハ、是ハ地質ガ白クナイノデアアルガ故ニ、アア云フ胡麻化シヤル、隨テ此色ヲ著ケルコトハ、此金液ハ米國ノ「ハノビヤ」會社カラ送ッテ「センクバイル」ノ品物ト半分々々使ッテ艶ガ良クナルガ、獨逸品ハ斯ウ云フ好クト申シマスガ、日本デハ生地ノ細カイ白イノ地質ガ良イヤウニ思フガ、之ヲ金液ノ艶ノ良イノデ補ッテ居ル、是ハ當業者ハ一箇ニ付テ三分二厘五毛ト云フヤウナ關係デ今商賣ヲ競合ッテ

居ルガ、政府ガ述ベラレルヤウナ殊ニ「センクバイル」ノ品物ハ品質ガ宜イト云フノハ机上ノ議論デナクシテ、營業者ガ之ニ付テ所謂有ユル方法ヲ講ジテ、自分ノ製品ノ販路ヲ獎勵シテ居ルノデアリマセウ、斯ウ云フ點ニ付テ私ハ實際問題デアリマスガ故ニ、ドウカ所謂其鑛山局長ノヤウデナク、虚心坦懷ニナツテ此工務ノ局ニ御代リニナル方ガ御説明ヲ願ヒタイ、受持ノ課長ハ高木芳之助ト云フ人ニ對シテ、ドウモ外國製ハ唯々斯ウ云フ事ヲヤツテハ困ルト言テ、危險ダト言ハシテハ困ル事ヲ言ハレタ、私ハ其事ヲ書取ツテ置キマシタガ、斯ナ事ヲ委員會デ言フト、今デサイス事デアアルカラ今後ガ恐シイ、ドウカソナ事ヲ言ハズニ置イテ吳レト言ヒマシタ、ケレドモ併ナガラ其事情ヲ闡明ニシ、而シテ同僚諸君ノ贊成ノ御判斷ニ供スル上ニ於テ、事實ヲ事實トシテ申上ゲルト云フ主義ヲ通シテ、何所マデモ突張ルト云フコトハ、一體此モノヲ離レテ感情ニ趨ツテ居ラレルカ知ラヌガ、感情ニ依テ斯ノ如キ實際問題ヲ審議サレル、或ハ調査サレルコトナラバ、吾々國民ノ代表ハ非常ニ不安ニ堪ヘナイノデアリマスカラ、之ニ對シテ明確ナル答辯ヲ願ヒマス

ヨリ先キ奧村君ハ昨年第五十一議會ニ於テ、金液問題ニ付テ當時ノ工務局長宮内君ト相當ノ論議ヲ重ネラレタヤウナ様子デアリマス、サウシテソレハ餘程細ニ入り密ニ互ツテノ御議論ノヤウニ只今拜聴致シマシタ、而モ其事ヲ述ベ、事實現物マデモ提供シテ御議論ニナツタヤウニ拜聴致シマス、而シテ其上ニ尙ホ課長トモ其他ノ人ニ對シテモ問答ガアツタヤウニ御述ニナリマシタ、大體ヲ拜聴致シマス、此問題ハ奧村君ノ御述ニナリマス通り非常ニ重大ナル問題デアアル、金液需要者間ニ生産高ハ非常ニ關係ヲ持ッノデアリマス、隨ッテ工業方面ニ於テ重大問題デアリマス、併ナガラ今ノ問答ヲ承ツテ居ルト、何方ガ工務局長ノ意見ガ事實ニ適合シテ居タカ、奧村委員ノ意見ガ實際ニ適合シテ居タカ、此方ノ結論ニ屬スルヤウニ自分ハ考ヘル、故ニ工務局長ガ今十日間或ハ二十日間モ掛ル病氣ナラ別デアリマスガ、病氣ノ狀態ニ依テハ出て來ラレヌコトモナイカモ知レマセヌ、ソレデアリマスカラ此意見ノ相違ヲ責任者タル局長ト奧村委員ト十分討議サレテ、更ニ事實問題ニ對シテ、サウシテ金液其他ノ技術上ノ關係ニ於テ十分御諒解ニナルヤウニ願ツテ、委員長ニ伺ヒマス、殊ニ明日明後日委員會ガ無イカモ知レヌ、故ニ萬一サウデアリマスナラバ、其次ノ日ニアリマスカラシテ、又委員會ガ今日閉ナルト云フコトデナケレバ、ドウカ一兩日ダケ此問題ヲ留保シテ戴イテ、サウシテ其間ニ於テドウカ工務局長ガ明後日強イテデモ出テ參ラレレバ、昨年來ノ行掛リノ熱心ナル當事者間ノ解決ヲ得タイト思ヒマス、斯ウ云フ事ハ極ク眞面目ニシテ、惡イモノハ惡イトシテ、少シク虚心坦懷ニ考ヘルコトガ國家ノ爲メ是ガ當然ト思ヒマス、此所二日間程此問題ヲ延シテ、昨年來討議ノ結果、意見ノ交換ヲ十分ニ明瞭ニスル爲メニ留保シテ戴キタイノデアリマス、如何デアリマセウカ

○奧村委員 只今政府委員ノ御說モゴザイマスカラ、宮内政府委員ノ出席ヲ待ツテ再ビ質疑ヲシタイト思ヒマス、今日ハ是デ打切りマス

○武藤委員長 ソレデ宜シウゴザイマセウガ、中井君ハ外ノ擔當デアリマスガ、中井君ニ發言ヲ許シテ、此陶磁器ニ關係シテ居ル問題ヲ聽取ルダケハ差支ナイデアリマセヌカ

○奧村委員 中井君ノ説明ヲ承ル前ニ、矢張宮内政府委員ノ御答辯ヲ願ヒタイ點ガアルノデアリマスガ、ドンナモノデセウカ委員長

○武藤委員長 サウデスカ、別段……

○奧村委員 私ハドナタラドウト思フ譯デナイガ、吉良君ガイカ言ハレマシタ如ク、技術家ハ技術家ノカタギニ依テ自己ノ說ヲ固執サレル傾ガアリマスカラ、其前ニ首腦者ノ工務局長ノ方ニ質疑ヲ致シテ、ソレカラ中井君ノ御

說ヲ承リタイト思ヒマス

○武藤委員長 ソレデハ宮内工務局長ノ出席ヲ求メテ、奧村君ノ質問ニ對スル答辯ヲ聽クコトニ致シマス、ソレマデ是ダケノ問題ハ留保致シマス、次ノ問題ニ移ツテ宜シウゴザイマス

○奧村委員 私ハ是デ打切りマス

○武藤委員長 岩切君、直グヤリマス

○岩切委員 昨年ノ委員會カラ引續キマシタヤウナ委員會デアリマシテ、色色ナ事ヲ御尋ネシタイト思ヒマスケレドモ、一々ノ品目ニ付テハ、既ニ昨年殆ド議論ヲ盡シタノデアリマシテ、其項目ニ付テノ爭ヲ此處デ繰返ス必要ハ無イト私ハ思フノデアリマス、唯々御尋ネシテ置キタイ點ハ、只今奧村君カラモ御質問ニナツタデアリマスガ、如何ニモ吾々ガ言懸リニ向ツテ意地ヲ張ルノデハアリマセヌケレドモ、議會ノ政治ヲ行ツテ居ッテノ關係カラ、昨年ノ關稅改正ニ當リマシテ、吾々ハ曾テ無イ長期間ノ委員會ニ於テ十分議論ヲ闘ハシマシタ結果、吾々ノ修正セントスル所ニ進ミツツアツタノデアリマスガ、政府當局ノ御意見トシテハ、如何ニモ修正モ尤モデアアルケレトモ、此際常設委員會ナルモノヲ設ケルニ依テ、此常設委員會ニ於テ十分審查シテ、來年度ハ必ズ相當ノ研究ヲ遂ゲテ、之ニ對スル對案ヲ提出スルト云フコトヲ政府ハ言明サレマシタカラシテ、吾々ハ假スニ

年ノ期間ヲ以テシタルデアリマス、然ルニ本年ハ昨年ノ御約束ニ頗ル相違致シマシテ、「コバルト」ノ一ツダケヲ提出サレタルデアリマス、砂糖ハ昨年取退ケラレタ問題デアッテ、是ハ自ラ別個ノ意味ガアルヤウニ私ニハ思ハレルノデアリマス、如何ニ考ヘテ見マシテモ、アレ程澤山ナ希望條件ヲ述ベテ居ッタモノガ、僅ニ酸化「コバルト」一ツダケ、審査シタ結果ガ誤ッテ居ル、訂正スベキモノデアッタト云フノハ、如何ニモ理窟ガ通ラナイヤウニ思フノデアリマス、勿論尙ホ研究中ニアルノデアアルカラ、是カラドシ——研究サレタ結果ハ、議會ニ提出サレルト云フノデアアルナラバ、尙ホソコニ考慮ノ餘地ハアルガ、若シ此度ノ議會ニ提出サレナイト云フコトニナレバ、尙ホ一年間延ビテ、日本ノ産業ト云フモノノ上ニ頗ル重大ナ影響ヲ持ッテ來ルノデアリマス、今日我が日本帝國ノ如キ對外的ニ頗ル産業ノ振ハナイ國ニ於キマシテハ、産業政策ノ立場カラ、關稅問題ト云フモノハ頗ル重大ナ意味ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、少ナクトモ民間ヲ代表シタ所ノ議員ガ集ッテ居ル議會ニ於テハ、一番重キヲ置カナケレバナラヌ政策ノ一ツデアアルト思フノデアリマス、申スマデモナク外國ノ議會等ノ如キハ、關稅政策ニ依テ内閣ノ更迭ヲ見ル如キ重大ナ議案デアッテ、吾トシテハ自分ノ研究シタ所ト所信等ニ向ッテハ、十分質スベキハ質

シ、主張スベキハ主張スルノガ當リ前デアアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ是モ邪推カモ知レマセヌケレドモ、如何ニモ此度ノ御提案ノ態度ヲ視テ見マスト、今期議會ガ解散ニデモナルト云フヤウナコトデ、政府ニ於テハ好イ加減ナコトデ放ッテ置カレタノデアリマス、ソレデ若シ常設委員會ト云フモノガ眞面目ニ論議サレテ居ルトシテ、色々ナ案ガ其中カラ出テ來ルト云フノデアレバ、果シテ今期議會ニ於テ尙ホ今後續々御提案ニナル御見込デアアルカト云フコトヲ先ヅ伺ッテ置カナケレバナラヌ、吾々議員ノ仲間ニ於キマシテハ、此問題ハ黨派ノ問題デナク、只今奧村君ハ政府ノ與黨デアルニモ拘ラズ、殆ド政府ノ信任ノ如キ質問ヲシテ居ラレルノデアリマス、寄り々々吾吾ノ間ニハ、政府ガサウ云フ態度デアハナラバ、議員舉ッテ法律案ヲドシ——出サウデハナトカト云フ意見ガ今頗ル有力ニ唱ヘラレテ居ル、而モ是ハ三派殆ド同一ノ行動デアアルカラシテ、出セバ立ドコロニ通過スルモノノヤウニ思フノデアリマス、併ナガラ吾々ハサウ云フ行動ヲ執ルヨリカ、出來ルナラバ政府ノ方カラ提案サレル方ガ最モ穩當デアアルヤウニ思フノデアリマスガ、政府ハ今期議會ニ於テ尙ホ酸化「コバルト」以外ニ、或ハ澱粉トカ、先程御質問モアッタ金液トカ「バタ」ノ如キ問題モ

御提案ニナル御見込ガアルカドウカ、先ヅ此點ヲ最初ニ御伺ヒシタイト思ヒマス
○黒田政府委員 昨年御希望ノ決議ノアリマシタ品物ガ、今日關稅調查委員會ニ諮問ニ相成リマシテ調査致シテ居リマスルコトハ、先刻申上ゲマシタ通りデアリマシテ、昨年政府ニ希望決議ヲシ、既ニ一年ヲ經過シテ居ルニモ拘ラズ、今日ハ僅ニ酸化「コバルト」ダケヲ提案スルト云フコトハ、如何ニモ政府ニ誠意ガ無イト云フガ如キ御質問デアッタノデアリマス、併ナガラ吾々ト致シマシテハ、先程モ申上ゲマシタ通り、關稅調查委員會ニ諮問ニナリマシタ後、之ヲ幹事ニ於テ調査スルヤウニト云フコトデアリマシテ、幹事ニ於キマシテハ熱心ニ研究調査ヲ致シテ參ッテ居ッタノデアリマス、決シテ今期議會ガ或ハ解散ニナルデアアラウカラト云フヤウナコトハ、毫モ私共ハ念頭ニ置カナカッタノデアリマス、岩切君ノ如ク大藏省ノ實際ヲ御承知下スッテ居ラレル御方ハ、恐ラクハ御諒承下サルコトト考ヘマスガ、私共ハ殆ド夜マデモ實ハ仕事ヲ致シテ居ッタノデアリマス、決シテ怠ッテ居ルト云フ風ナコトハナカッタノデアリマス、併ナガラ今日ノ實際ハ岩切君ノ仰セラレル通り砂糖ト酸化「コバルト」ダケデアアルコトハ事實デアリマシテ、如何ニモ其他ノ物ヲ等閑ニ付シテ居ッタヤウナ御質疑ヲ受ケルノデ

アリマスガ、砂糖ニ付テハ前期議會ノ御希望デハナイノデアリマスケレドモ、實際政府ノ方カラ尙ホ調査シテ、何等カノ案ヲ急ニ提案ヲシタイト云フコトモ考ヘテ居ッタノデアリマスカラ、恐クハ希望決議ノ中ニハ入ラナカッタト考ヘルノデアリマシテ、是ハドウシテモ消費稅トノ關係カラ致シマシテ、速ニ解決シナケレバナラヌト考ヘマシテ調査ヲ進メタルデアリマス、所ガ是ハ中ニ影響スル所ガ大キイノデアリマス、又ソレ等ノ資料ヲ得マスルノニ、或ハ之ヲ海外ニ求メナケレバナラヌモノモアルノデアリマシテ、調査モ非常ニ時ヲ要シタルデアリマス、又其他ノ品物ニ付キマシテモ、昨年以來色々事情ノ變化シテ參ッタモノモアルノデアリマス、唯々昨年ノ議會ニ提案シタ時ニ、吾々ノ調査ガ誤ッテ居ッタカドウカト云フコトヲ研究スルノデハマダ足りナイノデアリマシテ、其後ノ色々ナ生産ノ情況或ハ貿易ノ狀況、或ハ需要供給ノ狀況等、種々ノ狀況ニ付テ調査ヲシナケレバナラヌ事柄ガ澤山アリマシテ、先程鐵ニ付テ鑛山局長カラ説明申上ゲマシタ通り、鐵ニ付キマシテハ或ハ不當廉賣ノ疑ガアルトシテ、營業者カラノ申出モアルト云フヤウナ事情デアリマシテ、色々關係スル所ガ廣イノデアリマス、ソレ故ニ先程申上ゲマシタ通り、數種ノ品目ニ付テハ是ハ改正スル必要ハ無イ、今日ニ於テハ改正スル必要ハ

無イト云フ結論ヲ得マシタ、是ハ一應其關係ニ於テモ氣付キマシタ所デアリマスガ、其他ニ付テハ今マダ調査ノ途中デアリマス、専ラ岩切君ノ御希望ニ近イモノモアリマス、只今例ニ御舉ゲニナツタ、或ハ「バタ」トカ或ハ綿絲トカ其他ノ物ヲ御舉ゲニナリマシタガ、ソレ等ノ物ニ付テハ相當調査ノ歩ヲ進メテ居リマスカラ、不日之ニ對シマシテ決定モ致シマシテ、調査委員會ニ提案ヲ致シタイ考ヲ有ッテ居ルノデアリマス、現ニ先刻申上ゲマシタ通り、明日モ幹事會ヲ開ク通知ヲ既ニ發シタヤウナ譯デアリマシテ、一日モ怠ッテ居ル譯デアリマセヌカラ、今後ニ於テモ他ノ品目ニ付テ成ベク速ニ調査ヲ終了シ、出來ル事ナラバ關稅委員會ヲ速ニ開イテ、本期議會ニモ改正スベキモノヲ提案ヲサレルヤウニサシタイト云フ考ヲ持チマシテ、研究ヲ進メテ居ルノデアリマス、決シテ此以上ノ物ハ暫ク調査ヲ休ンデ、議會デモ濟ンダラ能ク調査ヲシヤウデナイカト云フヤウナ考ハ、毫モ有シテ居リマセヌノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○岩切委員 只今商工省ノ棚瀬サンガ御見エニナリマシタガ、私ハ關稅問題ト云フモノハ、商工省ト大藏省ニ跨ッタ問題ト思ヒマスガ、商工省ノ立場ト大藏省トノ立場トニ多少差ガアラウト思ヒマス、勿論關稅其モノハ大藏省ニ屬シテ居リマス、稅ト云フ立場カラ云ヘバ大藏省ガ主デアリマスガ、産業政策ノ立場カラ云フト、ドウシテモ商工省ノ方デモウ少シカヲ入レナケレバナラヌモノノヤウニ思フノデアリマス、商工省トシテハ色々輸出貿易ニ對スル獎勵ノ案ヲ御拵ヘニナリ、法案ヲ拵ヘテ居リマスルケレドモ、最モ重大ナルモノハ矢張關稅政策デアアル、殊ニ將來ノ政治ト云フモノガ、産業ニ立脚スル方面ガ多クナレバナナル程商工省ノ關稅ニ對スル方策ト云フモノガ立ッテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、何故私ガサウ云フコトヲ云フカト申シマス、先日モ本會議大ニ質問致シマシタ如ク、本年度ノ關稅ノ收入ガ非常ニ多クナツテ、昨年言明サレマシタ所ノ數字ト非常ナ隔リノアルト云フコトハ、一面カラ云ヘバ關稅ノ政策ガ片手落デアルト云フコトニ歸著スルト思ヒマス、關稅ハ稅ノ收入デハナクシテ、産業政策ノ大部分ヲ占メテ居ルノデアリマスカラ、國內ノ産業ヲ獎勵セシメヤウトスル場合ニ、反面ニ於テ關稅政策ト云フモノヲ立ッテ、其陰ニ隱レテ産業ガ發達スルト云フコトガ、關稅政策ノ眼目デアリマス、若シ關稅ガ産業ト互ニ併行シテ行ハレテ居ルナラバ、漸次關稅ノ收入ト云フモノハ減少シテ行カナケレバナラヌ、外國カラ來ル品物ニ内地ノ産業ガ變ッテ行クト云フコトガ終局ノ目的デアリマス、内地ノ品物ト變ッテ行ケバ、自ラ外國ノ品物ガ入ラナ

クテモ宜イコトニナル、絶對ニ入ラヌト云フコトハナイガ、收入ガ斯ノ如クシテ漸次減少シテ行カナケレバ、關稅政策ノ目的ハ達シナイモノノヤウニ思ヒマス、然ルニ斯ウ云フヤウニ關稅ハ唯々收入主義ニ結果ガ終ッテ關稅ト相對立シテ居ル所ノ産業政策ト云フモノガ、十分ニ其方策ガ決ラナイ中ニ、關稅ト云フモノガ先キニドン／＼走ッテ行クノデアリマスカラ、自然收入ノ方ガ多クナツテ、見込違ト云フコトガ出テ來ルヤウナ結果ニナルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ立場カラ商工省ノ當局ニ伺ッテ見タイト思ヒマスルコトハ、産業ニ對スル關稅政策ト相對立スル所ノ方針如何ト云フコトデアリマスガ、例ヘバ昨年ノ關稅政策ノ中ニ人造繭絲ノ關稅ノ改正ガアツテ、是等モ關稅デ一方防禦シテ、内地ノ産業ガ發達スルヤウニト云フコトガ講ゼラレルト、一面ニハ非常ナ製産過剩ヲ來スヤウナ結果ニナツテ、其邊ノ大方針ニ依テ旨ク按排ヲ付ケテ行クト云フコトガ適當ニ行ハレテ居ラナイノデナイカト云フ疑フ有ツノデアリマス、又綿絲稅ノ撤廢ノ如キモ、輸出貿易ト云フコトカラ考ヘテ見マスレバ、成ベク安イ原料ヲ持ッテ來テ、輸出貿易ガ獎勵サレテ行クト云フ方面ニ力ヲ盡サナケレバナラヌノデアリマスカラ、是等ノ方面カラ云ヘバ、寧ロ關稅ハ撤廢サレル方ガ適當デナイカト思フノデアリマス、吾々

ハ單ニ何デモ彼デモ引上ゲテ内地ノ産業ヲ保護シテ行クト云フコトニ終始シヤウト云フノデナイケレドモ、物ニ依リ品ニ依テ、或ハ撤廢シ或ハ重稅ヲ課シテ保護シテ行カナケレバナラヌガ、是等ニ對スル方針ガ研究ノ暇ガナイノデアルカ、十分徹底シテ居ラナイヤウニ考ヘラレルノデアリマス、ソコデ私ハ昨年希望條件トシテ申上ゲタ中ニ、大キナ眼目トシテ不當廉賣ト云フ問題ガ確ニ大キナ一ツノ項目ニナツテ、ソレカラ製鐵業ニ對スル國策問題、染料ニ對スル問題、此三ツ、大キナ項目ニ分ケマシテ、其後ニ澱粉トカ或ハ「バタ」トカ「オレイ」トカ、其他色々ノ物ヲ竝ベマシテ御調査ヲ願ッタ譯デアッタノデアリマスガ、一箇年間ニ於キマシテ内地ノ産業ト外國トノ關係ヲ見マスルト、鐵ノ問題ノ如キハ、隨分一箇年ノ間ニハ社會ノ注意ヲ喚起シタ問題ノヤウニ思フテ居ルノデアリマス、鐵ノ問題ハ昨年政府トシテハ一ツノ重要政策トシテ、銑鋼一貫主義ノ下ニ製鐵獎勵費ト云フモノヲ御支出ニナツテ、一面ニハ關稅ヲ以テ之ヲ保護シテ行クト云フコトニナツタノデアリマスガ、當時印度トノ關係ガアツテ、兎ニ角一時的ノ方法ヲ取ッテ、サウシテ更ニ政府ハ十分印度トノ對外關係ヲ顧慮シテ、更ニ徹底的ニ調査ヲ進メテ、若シ立案スベキモノデアラナラバ案ヲ立ッテ次ノ議會ニハ考慮スルト云フヤウナコトガ暗々ノ間

ニ政府ト吾ノ間ニハ一ツノ諒解ガサレタカノ如ク思ハレタノデアリマス、昨年鐵ノ問題ヲ取扱ヒマスノニ、主トシテ此處ニ鑛山局長モ御在デニナリマスガ、關稅率ヲ改正スル標準ハ、内地ノ製產費ト外國ノ製產費、即チ其間ニ於ケル差ガドレダケアルカト云フコトヲ多ク考慮ノ主眼ト致シマシテ、關稅率ノ改正ヲ行ハレタノデアリマス、然ルニ其後外國ノ事情ハ吾ノ想像シタ以上ニ、産業上ニ對スル改善ガ特ニ歐洲大陸ニ於テハ行ハレマシテ、鐵ノ如キモノモ我國ニハ昨年ノ當時ヨリ更ニ安イ生産費ニナツテ内地ニ輸入サレルヤウニナツタノデアリマス、最近鐵ノ値段ハ能ク知リマセヌガ、一噸八十五六圓位デ外國品ガ内地ニ陸揚ゲサレルヤウニ承ツテ居リマス、斯ウ云フ風ニ外國デハ非常ニ事業ノ整理ヲ行ヒマシテ、頗ル能率ノ高イ方法ニ依テ鐵ノ生産ガ行ハレ、ソレガ我國ニ輸入サレルトナルト、折角ノ我國ノ製鐵ニ關スル保護策モ自ラ不徹底ニ終ルノデアリマス、之ニ對シテモ何トカ國策ヲ樹テ行カケレバナラヌト云フ御意思デアルナラバ、ソレニ應ズル方法ヲ矢張考ヘテ行カナケレバナラヌト思フ、ソコデ昨年ハ不當廉賣ト云フ問題ヲ最重要ナ問題トシテ政府ニ徹底の調査ヲ促シテ置イタルデアリマス、然ルニ尙ホ調査ト云フコトノミニ時日ヲ取ラレテ、今日ニ至ルマデ此問題ニ對シテ具體的方法ガ講

ゼラレタト云フコトヲ聞カナイノデアリマス、是ハ實ハ外國ニ對スル關係デアルカラ、面倒ダト云フ御意思デハナイカト思ヒマスガ、政府ハ左程此問題ニ對シテ臆病ニ取扱ツテ居ラレルガ、之ニ對シテハ一ツノ標準デモ定メテ、是レ位ノ値段以下ノモノハ、假ニ不當廉賣ト云フ事實ガ無クテモ、調査シテ見ルト云フ位ノコトハアツテモ宜ササウニ思ヒマスガ、サウ云フ御方針ガ政府ニ無イノデアリマス、之ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス、ソレカラ此度ノ政府ノ案ノ中ニ九州製鋼所買収案ガ出テ居リマス、此案ノ内容ヲ此所デ追窮致スコトハ致シマセヌガ、少ナクモ斯ウ云フモノヲ買収スルコトハ、大キナ意味ニ於ケル製鐵行政ノ理想ノ下ニ割出サレタモノデアアルカ、單ニ一會社ヲ助ケルト云フ小サナ目的カラ出テ居ルノデアアルカト云フコトガ根本問題デナケレバナラヌ、大キナ意味ニ於テ内地ノ製鐵工業ノ基礎ヲ立テルト云フ意味カラ是ガ必要デアルト云フナラバ、吾ミハ何モ反對スルモノデハナイケレドモ、單ニ部分的ニ之ヲ買収スルト云フ風ニ、主義ガ一貫シテ居ナイト、唯、安川氏ノボロ會社ヲ一ツ救済スルト云フ極メテ詰ラナイコトニ終ツテシマウノデハナイカト思フノデアリマス、製鐵工業ノ合同ト云フ問題ハ、嘗テ前農商務大臣デアッタ高橋サンガ企テラレテ、其

後又今ノ片岡藏相モ御考慮ニナツタヤウニ思ヒマスガ、今ノ製鐵業者ノ主張ヲ吾ミカラ考ヘマスルト、必シモ大キナ資本家ノ言フコトガ全部肯綮ニ中ツテ居ルト思ハレナイ、寧ロ政府ハモット日本ノ事業ヲ整理スル意味カラ、徹底的ニ事業ノ内容ニ干涉シテマデモ、能率ノ上ル合同ト云フ問題ニ向ツテ方針ヲ樹テラレル意思ハナイノデアアルカ、其一ツノ片鱗トシテ九州ノ製鋼所買収ト云フ問題ガ起ツタノナラバ、極メテ論理ノ一貫シタ話デアアルガ、今申シマストリ唯一部分ヲ目的トスル事柄デアアルスレバ、極メテ不徹底ノヤウニ思ヒマスカラ、此點ニ對スル政府ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイ、ソレカラモット根本的ノ問題ハ、我國ノ製鐵ガ内地ノ需用ヲ充タスニ十分デナイト言フコトハ、是ハ明カナ事デアリマス、之ニ對スル方針ガ果シテドノ方面ニ向ツテ居ルノデアアルカ、或ハ加工工業ノ方面ニ最モ力ヲ盡シテ、安イ銑鐵ヲ印度方面カラ入レテ、製鋼事業ニ力ヲ盡ス方針ニ行クノガ是デアアルカ、或ハ飽迄内地ニ於ケル銑鐵工業ヲ獎勵シテ行クノガ主デアアルカ、何シテ方針ヲ定メルカ分ラヌヤウデハ、右ニモ付カズ左ニモ付カヌヤウニナツテ、一向發達ノ域ニ達セヌト私ハ思フノデアリマス、之ニ對シ政府ガ何方カニ方針ヲ確定サレ、若シ内地ニ於テ製鐵工業ヲ確立セシメルト云フナラバ、今少シク不當廉賣ニ對スル取締ヲ思ヒ切ツテ行ヒ、或ハ生産費ヲ低減スル

意味ニ於テ、鐵道運賃ノ如キ問題ニモ考慮ヲ回ラシテ、生産費ノ低廉ヲ期スル、或ハモット進ンデハ先程申シタヤウニ事業會社ノ合同、寧ロ干涉シテモ、國家ノ爲ニ其確立ヲ促シテ行クコトニ努力スルカ、是ガイカヌト云フナラバ、寧ロ關稅ヲ撤廢シテ安イ印度ノ鐵ヲ入レテ、此製鐵機械工業ノ方面ニ加工工業ノ方針ヲ確立シテ行クト云フヤウニスルカ、何カ茲ニ方針ヲ設ケナケレバ、何時マデモ生殺シニシテ置イテハ、我國ノ産業ノ前途ハ頗ル寒心ニ堪ヘナイモガアルト思フノデアリマス、此點ニ付テ商工省ノ御意見ヲ承リタイノデアリマス

○榎瀨政府委員 岩切君ノ御尋ネノ關稅政策ト産業トノ關係ハ、一々同感デアリマシテ、矢張關稅ノ一切ノ切盛りハ産業ノ盛衰ニ結び付ケナケレバナラヌ、常ニ深甚ナル調査ヲ現スト同時ニ、切盛りヲ現シテ居ル次第デアリマス、昨年ノ關稅改正ノ際ニモ大藏當局ヨリ申述ベマシタ通り、原料並生活必需品ニ對シテハ無稅ノ主義デアリマス、其他ノ日本ニ現ニアル工業及興ラントシツアル工業ニ對シマシテ、之ヲ保護スル爲ニハ、外國品ノ沖渡シノ價格ト日本ノ生産費トノ差ヲ見マシテ、ドウシテモ此差ヲ保護スルニアラザレバ、其工業ガ成立タヌト云フモノニ對シテハ、十分嚴密ナ調査ノ末、一品目毎ニ非常ナ苦心ヲ以テ稅ヲ盛ッタヤウナ

次第デアリマス、人造絹絲ノ如キ、現ニ作年マデハ御承知ノ通り日本ニ於ケル生産ガ纔ニ三百萬封度内外デアッタカト思フ、其一封度ニ對シテ九十錢ノ稅ヲ設定シタコトガ、伊太利ノ非常ニ發達シタ人造絹絲ノ賣先キヲ東洋方面ニ向ケツツアッタモノヲ、漸クニシテ防遏シ得タ、若シモ當時アノ關稅ヲ設定シナカッタナラバ、折角發達シカケテ居ッタ日本ノ人造絹絲ト云フモノハ、殆ド絶滅ニ歸シタト思フ位デアリマス、幸ニ關稅設定ノ結果トシテ、人造絹絲ハ殆ド日ヲ逐ウテ隆盛ノ域ニ達シテ、昭和二年度ノ如キ懸テ一萬封度ニ達セントスル勢ヲ呈シテ居ル次第デアリマス、綿絲關稅ノ事ニ付テハ、一昨年及昨年の議會ノ委員會デ可決セラレタモノデアリマスガ、是ハ昨年モ申シマシタガ、殆ド五六十二近イ日本ノ紡績工業會社ノ中ニハ、二割三割内外ノ配當ヲシテ居ル所モアリマス、戰時好況時代ニ出來タ紡績工業ノ如キハ、一鍾當リノ單價ハ殆ド百圓乃至百五十圓ト云フ重荷ヲ脊負ッテ、今ノ不況時代ニハ、採算ドコロデハナイ、年々借金ヲ増シテ行クモノガ其半バヲ占メテ居ルノデアリマスカラ、是等ノ見末ノ付クマデハ、此稅ヲ撤廢スルト云フコトハ、我綿絲工業上餘程考ヘナケレバナラスト云フノデ現在稅率ヲ維持シテ居ルノデアリマス、次ニ製鐵ノ事ニ付テ御話ガアリマ

シタガ、是ハ矢張商工省トシテハ銑鋼一貫主義ヲ採リドウカシテ鋼材ノ生産ヲ増大シテ行キタイ、今日日本ニ於ケル鋼材ノ需要高ハ百六十萬噸内外デアル、其内日本ニ於テドレ程ノ生産ガアルカト云フト、僅ニ百十萬噸内外デアル、尙ホ五十萬噸内外ハ之ヲ外國品ヲ仰ガナケレバナラヌ狀態デアリマス、故ニ昨年製鐵獎勵法ヲ御協賛ヲ經テ制定シマシタソレハ銑鋼一貫主義デ、鋼材ノ増大ヲ圖ル爲メアノ政策ヲ採ッタデアリマス、併ナガラ其政策ヲ採ッタニ拘ラズ、鋼材ノ如キハドウシテモ外國品ガ非常ニ廉價ニ輸入サレテ居ル、之デハ折角保護セントシテモ、一方ヨリドン／＼安イ物ガ這入ッテ來ルノデハ、折角企テ獎勵ノ目的ヲ達成スルコトガ出來ナイ、ソコデ商工省トシテハ此狀況ニ鑑ミマシテ、如何ニシテ鋼材ニ對シテ關稅ヲ更ニ増課スベキカト云フコトニ對シテ、目下調査ヲ致シテ居リ、相當ノ成案ヲ得テ居ルノデアリマス、併シ茲ニ先決問題トモ云フ事柄ハ、不當廉賣デアリマス、多ク大陸カラ這入ッテ來ル鐵ノ中ニ、全ク正當ナ市價ヲ割ッテ、日本ヘ不當ノ販賣ヲスルモノガアル所謂「ダンピング」ヲ試ミテ居ルモノガアル、ソレデ細ク打明ケテ申セバ、鐵鋼懇談會ヘ某國カラ、日本ニ對シテ不當廉賣ヲ爲シテ居ルモノガアル故ニ、是ハ不當廉賣法ノ精神ニ基イテ、之ヲ

審查シ取締ッテ貫ヒタイト云フコトヲ昨年申請シテ參リマシタ、ソレデ不當廉賣法ヲ昨年ノ議會デ改訂サレテ、其標準スベキ標準モ極ッテ居ルノデアリマスカラ、此申請ニ基イテ内外ノ有力者ヲ網羅シタ不當廉賣審查委員會ニ此議ガ提出サレタノデアリマス、所ガ是ハ中ニ困難ナ問題デアリマシテ、商工省ニ於テモ、某國ノ鋼材ノ販賣方法ハ不當デアルカ、或ハ正當デナイカト云フコトヲ、内外ニ互ッテ調査ヲ致シ、其結果モ一通リ報告モ致シタノデアリマシタ、其後昨年冬第二回委員會ニ於テ、委員山本条太郎君ヨリ斯様ナ動議ガ出マシタ、此問題ヲ決定スル前ニ、今大陸方面ニ鐵ノ調査ニ行ッテ居ル今泉嘉一郎君ガ懸テ歸朝セラレル、此人ハ製鐵界ノ權威デアル、恐クハ今泉博士ガ歸ラレタラ其狀況ガ判明スルダラウ、故ニ今泉君歸朝ノ上、其話ヲ參考トシテ聽イタ上、一切ノ判斷ヲスルガ適當デアラウカラ、今日ハ此決定ヲ保留シヤウト云フ動議ガアッタ、各委員モ總テ同意ヲ表シ、遂ニ今日マデ其解決ヲ保留サレテ居ル次第デアリマス、要スルニ先決問題ハ、今某國ヨリ這入ッテ居ル鐵ノ價格ト云フモノハ不當デアルヤ正當デナイカト云フコトガ、此不當廉賣審查委員會ニ於テ如何ナル決定ヲ與ヘラレルカ、其決定ガ正當販賣デアルト云フコトデアリマシタナラバ、日本ノ

鋼鐵工業ニ對シテハ、矢張商工省ノ見ル所ニ依テ稅ノ切リ盛リヲ致ス考デアリマスシ、又不當廉賣ト云フコトデアレバ、不當廉賣法ノ精神ニ則ッテ、其方面カラ救済ノ方法モアルト考ヘマス、此審查委員會ハ不日第三回ノ會合ヲ催シマシテ、今泉君ノ出席ヲ求メテ、其調査報告ヲ聽イテ、サウシテ最後ノ判斷ヲ爲スニ至ルデアラウト思ヒマス、其上ニアラザレバ鋼鐵ニ對スル關稅ヲ如何ニスルカト云フ最後ノ結論ニ達シナイト御承知ヲ願ッテ置キタイ、ソレカラ九州製鐵ノ買収ニ付テ御質問デアリマス、九州製鐵ハ八幡製鐵所ノ南方ニ位置シテ居ル工場デアッテ、詰リ八幡製鐵所ヲ中心トシテ、左右兩翼ニ工場ガアリマス、右ニアリマスノガ東洋製鐵株式會社、左ニアリマスノガ九州製鐵株式會社デアリマス、右ニアル東洋製鐵所方ハ今迄委任管理ヲ致シテ居ッタ、所ガ段々銑鐵ノ増產ヲ圖ル必要ガアリ、採算的經濟ガ立チ得ルニ至ッタノデ、何時マデモ無償デ使フコトハ穩當デナイト考ヘマシテ、本年諸君ノ御協賛ヲ經テ、有償ノ貸借ニ引直シテ本年ヨリ向フ六箇年間カト思ヒマスガ、貸借契約ヲ締結スルニ至ッタノデアリマス、其左ノ九州製鐵、是ハ本會議デモ商工大臣ヨリ一度御話申上ゲタヤウデアリマスガ、世間デハ之ニ對シテ種々ナル批評ヲ加ヘテ居ルヤウデアリマ

ス、既ニ不要ナボロ會社、赤錆ノ著イタ殆ド運轉不能ノ工場ヲ、安川家救済ノ目的ヲ以テ之ヲ買入レタコトハ、甚ダ不穩當デアルト云フコトヲ申ス人ガアルト承テ居ルノデアリマス、併ナガラ商工省ハ決シテ左様ナ不純ナ考ヲ以テ之ヲ買收シタ譯デハナイノデアリマス、此會社ハ大正九年ニ創業致シテ、十二年ニ初メテ試運轉ヲ致シタノデアリマスガ、爾來財界ノ狀況常ニ不況ヲ加ヘ、殊ニ鐵業界ノ狀態ハ甚ダ不振ヲ極メテ參ッタノデアリマス、遂ニ九州製鋼ハ採算上經營ヲ爲スコトガ困難デアルト云フノデ、今日マデ打棄テラレテ居ッタノデアリマスケレドモ、併シ其保管ニ付テハ十分意ヲ用ヒテ、殆ド創業當時ノ狀態其儘ヲ持續シテ居ルト承ッテ居リマス、然ラバ九州製鋼所トシテ經營不可能ナルモノヲ、官業製鐵所トシテ之ヲ經營シテ採算ガ取レルカ、斯ウ云フ疑問ガ次イデ起ルベキ問題ト思ヒマスガ、是ハ九州製鋼トシテハ經營ハ不能デアアル、何トナレバ其原料ヲ得ルコトニ付テモ、燃料ヲ得ルコトニ付テモ、人件費ニ於テモ、物件費ニ於テモ、九州製鋼ガ獨立ノ技能ヲ備ヘテ之ヲ操業スルト云フコトハ、非常ニ經濟狀態カラ困難ト思ヒマスガ、幸ニ八幡製鐵所ニ於テ之ヲ經營スルト云フコトニナリマスト、人件費ノ如キニ於テハ何等際立ッテ増スモノガナイノデアリマス、殊ニ用

水ノ利用ノ如キ、技術員ノ利用ノ如キ、有料職工ノ利用ノ如キ、燃料ノ如キ、是ハ皆聯絡シテ作業ガ出來ルノデアリマスカラ、八幡製鐵所ガ經營スルト云フコトニナルト、今度交付スベキ公債ノ元利ヲ拂ッテ、尙ホ且ツ相當ノ餘剩ヲ生ズル、斯ウ云フ見地ニ於テ之ヲ買收スルコトニナッタノデアリマス、而シテ是ハ御話ノ通り鐵鋼一貫主義デヤッテ居ルノデアリマス、ドウカシテ此工場ニ於テ一日モ早ク鋼材ノ増産ヲ圖ッテ、出來ル限リ輸出ノ獎勵ニ努メタイ、斯ウ云フ考デ此計畫ヲ立テタノデアリマス、此工場ニ於キマシテハ、年産額七萬噸ノ鋼材ヲ賣ル豫定ニナッテ居リマス、ソレカラ銑鐵ニ付テノ御話ガアリマシタ、寧ロ印度銑ノ如キドン／＼入レタラ宜カラウ、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、ソレモ一ツノ見識デアリマス、岩切君ハ最モ製鐵業ニ通曉サレテ居リマスガ、日本ニ於テ殆ド銑ノミヲ一ツノ生命トシテ製造致シテ居ル製鐵工場ガ二ツアル、釜石及北海道輪西、又新領土朝鮮ニ於テハ平壤、準領土ト稱スベキ滿洲デハ本溪湖、鞍山、是ハモウ殆ド銑ヲ一ツノ生命トシテ製造致シテ居ルノデアリマス、若シモ無制限ニ之ヲ入レルト云フコトニナリマス、是等工場ニ大打撃ヲ來シ、隨テ操業難ニ陷ルコトニナル、斯ウ云フ結果ニナルコトヲ虞レマシテ、昨年種種協議ノ結果、例ヘバ製鐵獎勵法ナル

モノヲ設定致シテ、是等ニ對シテ相當ノ保護ヲ加ヘルコトニナッタノデアリマス、今後モ矢張相當期間迄ハ銑鐵ト云フモノノ製造ハ保護セネバナラス、銑鐵ヲ保護スル結果トシテ、矢張銑ノ増産ヲ圖ルコトガ——鋼材ノ原料ハ即チ銑デアリマスカラ、仍テ以テ八幡製鐵所ガ今後買入レマス所ノ、九州製鋼所ノ其原料ニ不足ナキコトニ致シタイト云フガ爲ニ、銑ニ對シテモ相當ノ保護助長ヲ圖ッテ、サウシテ銑鋼一貫主義ヲ發揮致シタイ、斯様ニ考ヘテ此案ヲ提出シタ次第デアリマス

○岩切委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ、大體政府ノ御方針ハ分リマシタ、然ラバ銑鋼一貫主義デ行クト云フ方針デアルトシマス、今ノ事情カラ申ストマダ色ミナ缺陷ガアル、今柵瀨次官ノ御話デハ、不當廉賣ナルモノガ事實行ハレテ居ルトスレバ、ソレニ依テ取締ル、若シソレガ不當廉賣デナイト云フコトデアレバ、政府ノ方針ハ生産費ヲ基準トシテ關稅政策ヲ執ッタノデアアルカラ、自然關稅ヲ引上ゲテ其保護ヲシナケレバナラス、斯ウ云フ御意思ノヤウニ承ッタノデアリマスガ、左様デアリマスカドウカ、ソレカラ關稅ハ其善シ惡シカラ引上ゲルト云フナラバ、一方消費者側カラ必ズ反對ヲ致ス聲ガ起ッテ來ル譯デアリマスガ、是等ノ緩和スル意味ニ於キマシテ、先程一寸申上ゲ

タノデアリマスガ、例ノ鐵道運賃政策ニ依テモ、幾ラカ生産費ノ低下ト云フコトモ出來ナイコトハナイト思ヒマスガ、之ニ對シテハ政府ノ方針ハ如何デアリマスカ、其點ヲ一ツ伺ヒタイ

○柵瀨政府委員 御尋ネノ若シモ應テ開カルベキ不當廉賣審查會ニ於テ、某國ヨリ我國ニ輸入スル鐵ノ價ガ不當ニアラズ、斯様ナ決定ヲ見タト假定致シマシタナラバ、又無論現在ノ關稅ヲ以テハ我ガ鋼鐵ノ保護ヲ致スニハ不十分デアアル、斯様ニ考ヘテ居リマス、殊ニ條管又ハ小型「レール」ノ如キ、現在ノ關稅ダケヲ以テハ、中々工業ノ發展ヲ期スルコトガ困難デアアル、早速何トカ是等ノ對策ヲ講ゼネバナラス、斯様ニ考ヘテ居リマス、又鐵道運賃ノ割引ノ如キ、是ハ矢張昨年出來上リマシタ鐵鋼協議會——官民合同ノ分野ヲ定メル際ニ出來マシタ一ツノ協議會デアリマスガ、是ハ當面ノ申合せトシテ、矢張一方ハ關稅ニ依リ、一方斯様ナ重要品ニ對シテハ國家ガ相當ニ内部ニ於テ運送方面ニ於テモ助勢ヲスル必要ガアルト云フノデ、矢張鐵道運賃ノ割引ノ如キ、現ニ交渉シツツアルト御承知ヲ願ヒマス

○長田委員 恐入リマスガ、關稅調查會ノ速記ガアルサウデアリマスカラ、委員長カラ是ガ御提出ノ御要求ヲ願ヒタイ

○武藤委員長 後ノ會ハ公報ヲ以テ通知致シマス、今日ハ是ニテ散會致シマ

午後四時一分散會

昭和二年二月二日印刷

昭和二年二月三日發行

衆議院事務局

印刷者：民友社